

地域金融推進レポート'21

～地域密着型金融の推進により

コロナ禍を克服した先の「選ばれる青森県」の実現へ向けて～

令和4年2月

青森県

「地域金融推進レポート'21」の発行にあたって

県では、平成20年（2008年）1月に「今後の県内中小企業金融円滑化に向けた総合対策プラン」を策定し、以降、関係機関の連携による地域密着型金融の推進等に取り組んできました。

また、その推進状況を評価するため、毎年度、県内中小企業等へのアンケート調査結果を基にしたリレバン・レポートを作成し、中小企業と金融機関の相互理解の状況等を把握するとともに、関係機関の取組の改善等に役立ててきています。

平成30年度（2018年度）以降は「青森県地域密着型金融推進プラン2018改訂版」（期間：2018年度～2022年度）で定めた基本方針に基づいて、引き続き取組を進めているところです。

「地域金融推進レポート'21」では、これまで継続して調査を行ってきた事項に加え、昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症関連融資について取り上げています。

本レポートが県内中小企業金融の円滑化の一助となれば幸いです。

最後に、コロナ禍の中、アンケート調査に御協力いただいた中小企業者の皆様、並びに調査票のとりまとめに御尽力いただいた商工団体を始めとする関係者にお礼申し上げます、作成にあたっての御挨拶といたします。

令和4年（2022年）2月

青森県商工労働部長 相馬 雄幸

地域密着型金融とは

地域密着型金融とは、「**金融機関が顧客との間で親密な関係を長く維持することにより顧客に関する情報を蓄積し、この情報を基に貸出金等の金融サービスの提供を行うことで展開するビジネスモデル**（平成15年3月27日金融審議会報告）」である。

その本質は・・・

長期的な取引関係により得られた情報を基に、質の高い対面交渉等を通じて、早い時点で経営改善に取り組むとともに、中小企業金融における貸出機能を強化することにより、金融機関（メインバンク）自身の収益向上を図ること。

目次

I アンケート調査の概要	1
II 金融機関（メインバンク）に対する中小企業の満足度	2
1 総合満足度	
2 個別項目別満足度	
III 中小企業の資金調達の現状	6
1 融資や条件変更の謝絶経験割合	
2 謝絶理由	
3 謝絶時における金融機関（メインバンク）からのフォローの状況	
IV 中小企業と金融機関（メインバンク）の相互理解促進への取組状況等	9
1 金融機関（メインバンク）に対する中小企業の情報提供の状況	
2 試算表・資金繰り表・事業計画の作成状況	
3 中小企業の事業内容に対する金融機関（メインバンク）の理解度	
4 “金融機関（メインバンク）の理解度”と“個別項目別満足度”との関係	
V 新型コロナウイルス感染症関連融資について	17
1 新型コロナウイルス感染症に関連して、メインバンク等からのヒアリングや、情報提供の有無	
2 新型コロナウイルス感染症関連融資の利用状況について	
3 新型コロナウイルス感染症関連の融資手続について	
4 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で金融機関に望むこと	
5 新型コロナウイルス感染症の対応についての金融機関に対する満足度	
6 新型コロナウイルス感染症の影響と今後の対応	
VI 地域密着型金融の推進によりコロナ禍を克服した先の「選ばれる青森県」の実現へ向けて	23
VII 金融機関における資金供給等の状況	24
1 金融機関における資金供給の現状	
2 金融機関における多様な資金供給の状況	
3 経営改善支援の取組	
4 セミナー・研修会・勉強会等の開催	
5 ビジネスマッチング支援	
6 人材育成の取組	
7 県内金融機関・商工団体等における特徴的な取組	

I アンケート調査の概要

調査対象

県内に事業所を有する中小企業（個人・法人） 2,000件

調査方法

県内各商工会議所・商工会、青森県中小企業団体中央会、その他業界団体の協力による調査票の配布・回収

調査時期

令和3年10月1日～令和3年11月26日

回答率

1,476件／2,000件（73.8%）

業種別	建設業:326件、製造業:127件、卸売業:86件、小売業:393件、運送業:34件、不動産業:16件、サービス業:454件、その他:32件、無回答:8件
経営形態別	個人:759件、法人:716件、無回答:1件
従業員数別	0人:286件、1～5人:759件、6～20人:263件、21～50人:97件、51～100人:34件、101人以上:31件、無回答:6件
業績別	上向き:160件、横ばい:605件、下向き 698件、無回答:13件
所在地域別	東青地域:274件、中南地域:239件、三八地域:224件、西北地域:239件、上北地域:380件、下北地域:116件、県外4件
ライフステージ別	創業して5年以内:98件、成長段階:125件、安定期:561件、経営改善が必要:545件、抜本的な事業再生が必要:118件、無回答:29件
年商別	1,000万円未満:386件、1,000万円以上3000万円未満:380件、3,000万円以上5,000万円未満:171件、5,000万円以上1億円未満:186件、1億円以上:332件、無回答:21件
借入残高	ある:864、ない:606、無回答:6件

II 金融機関（メインバンク）に対する中小企業の満足度

1 総合満足度

アンケートの回答（「大変満足」「かなり満足」「まあ満足」「普通」「やや不満」「かなり不満」「大変不満」）を点数化したもの。

- 金融機関（メインバンク）に対する中小企業の総合満足度は**68.0点**で、昨年度（67.8点）と比較して0.2点上回った。
- 金融機関（メインバンク）からの「借入（残高）あり」と回答した中小企業の総合満足度は**71.2点**、「借入（残高）なし」と回答した中小企業では**63.3点**となった。

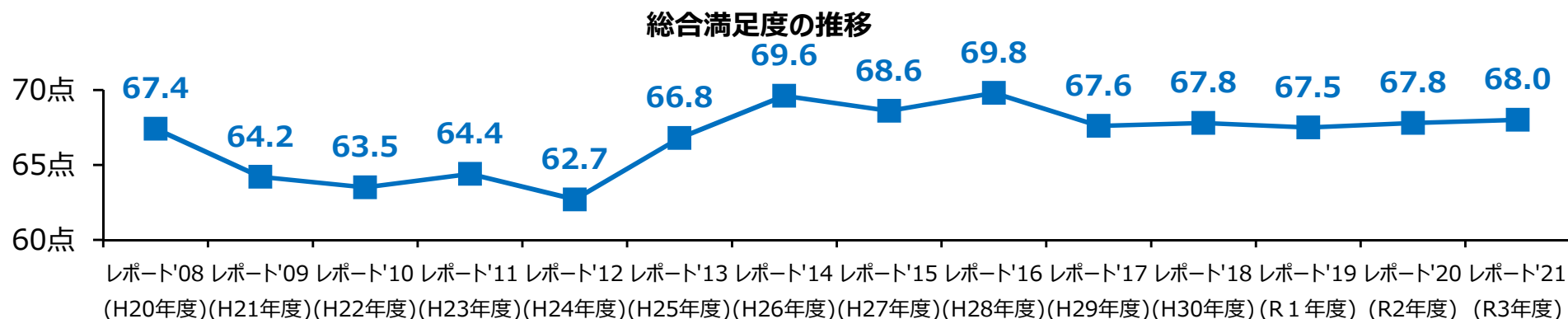
総合満足度 **68.0点**

(n=1,476、/有効回答数=1,466)

(昨年度 67.8点)

借入あり **71.2点** / 借入なし **63.3点**
(昨年度 70.7点) / 昨年度 63.7点)

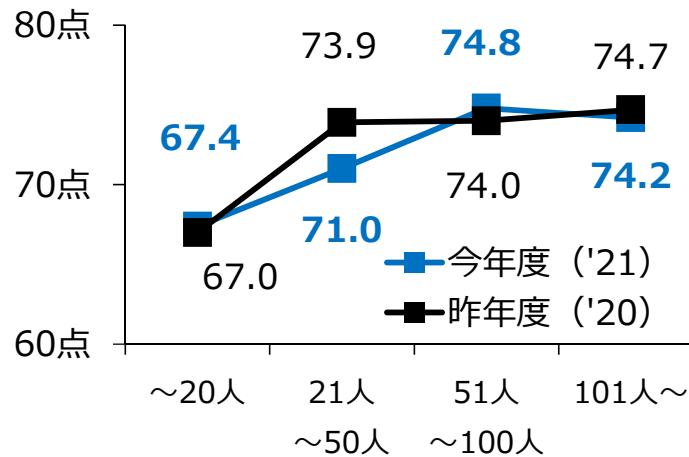
令和3年8月末現在における金融機関（メインバンク）からの借入（残高）の有無



総合満足度 (従業員規模別、業種別、業績別、ライフステージ別、年商別)

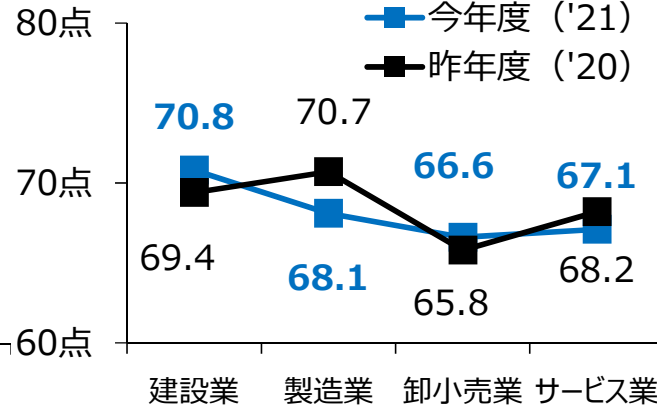
従業員規模別

(n=1,476/有効回答数=1,460)



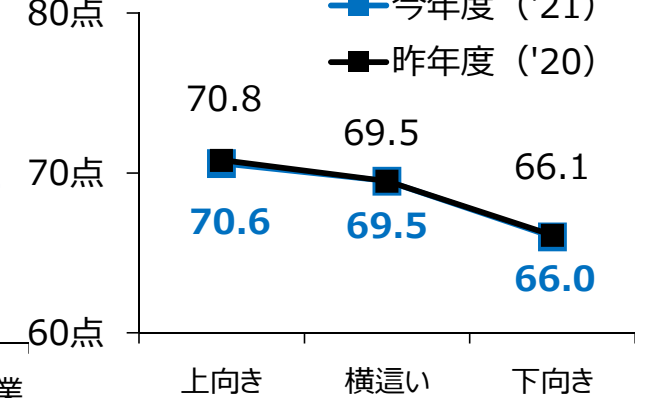
業種別

(n=1,476/有効回答数=1,457)



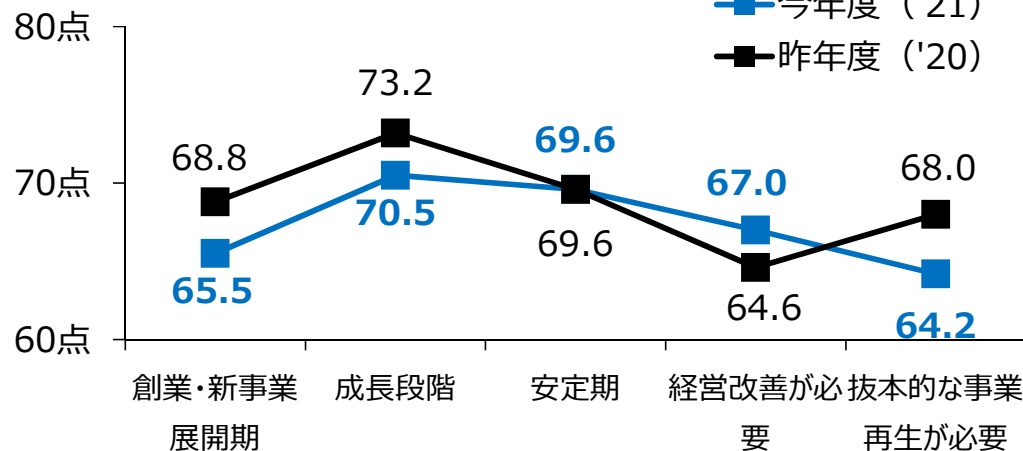
業績別

(n=1,476/有効回答数=1,453)



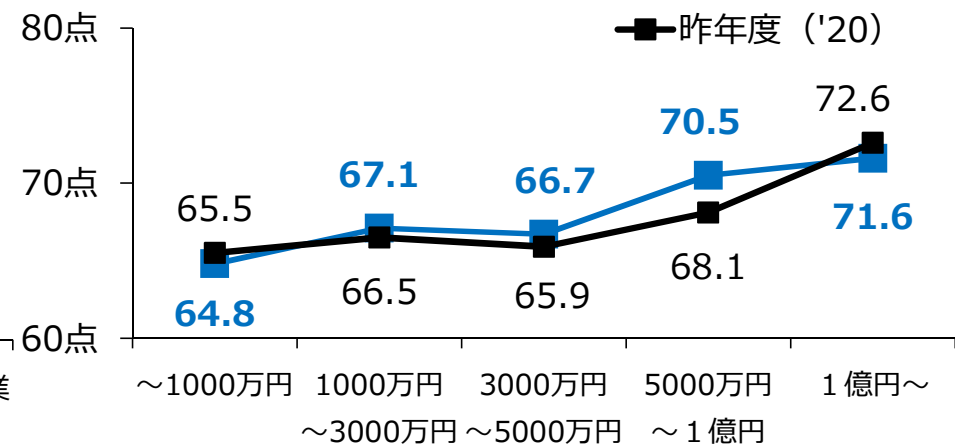
ライフステージ別

(n=1,476/有効回答数=1,437)



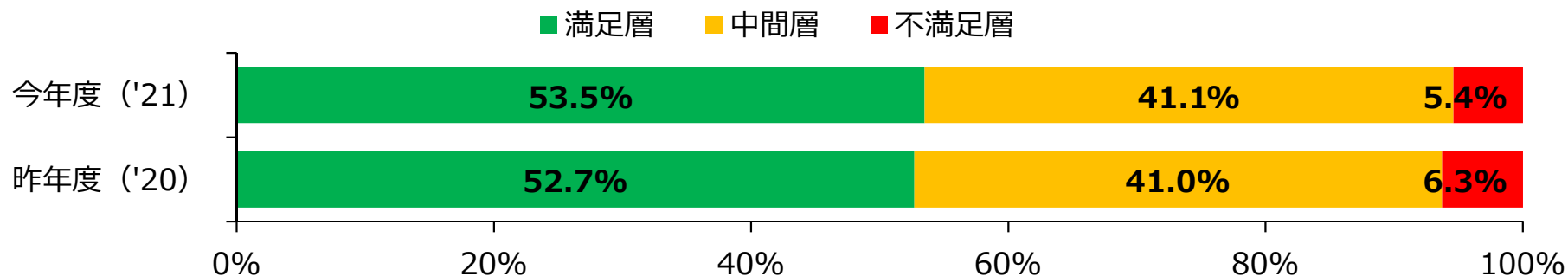
年商別

(n=1,476/有効回答数=1,445)



- 「満足層」、「中間層」、「不満足層」の構成割合は、「満足層」が増加し、「不満足層」が減少した。

「満足層」、「中間層」、「不満足層」の構成割合 (n=1,476/有効回答数=1,466)



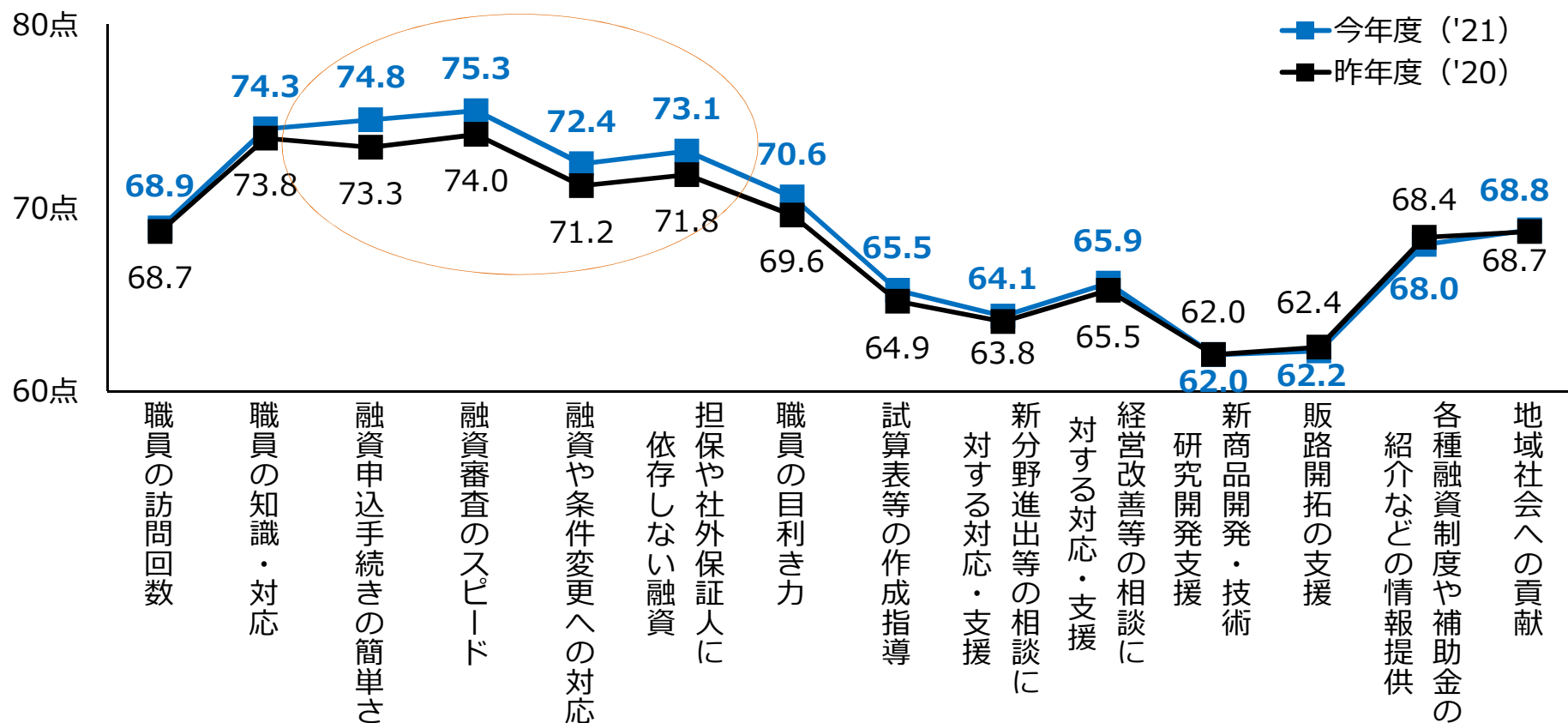
「満足層」、「中間層」、「不満足層」とは
総合的な満足度 回答選択肢

1 大変満足	}	満足層	サンプル数 785 (構成比 53.5%)
2 かなり満足			
3 まあ満足	}	中間層	サンプル数 602 (構成比 41.1%)
4 普通			
5 やや不満	}	不満足層	サンプル数 79 (構成比 5.4%)
6 かなり不満			
7 大変不満			

2 個別項目別満足度

アンケートの回答（「満足」「まあ満足」「どちらともいえない」「やや不満」「不満」）を点数化したもの。

- 個別項目別満足度は、昨年度と比較して概ね上回った。特に融資関連の項目と情報提供の項目が上昇している。
- 過去の調査と同様に、経営支援に関する項目の満足度が、その他の項目に比べ低くなっている。



昨年度より融資に関連する項目の満足度が大きく上昇していることから、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている中小企業への適切な融資対応を実施してきたことが窺える。

Ⅲ 中小企業の資金調達の現状

1 融資や条件変更の謝絶経験割合

- 「融資」又は「条件変更」を「謝絶された経験がある」と回答した中小企業の割合は**3.7%**で、昨年度（4.8%）と比較して低下した。
- 融資の謝絶経験割合は**3.2%**で、昨年度（4.4%）と比較して低下した。
- 条件変更（金利引下げ、支払猶予、返済期限延長等）の謝絶経験割合は**4.6%**で、昨年度（3.7%）と比較して上昇した。

融資又は条件変更の
謝絶経験割合

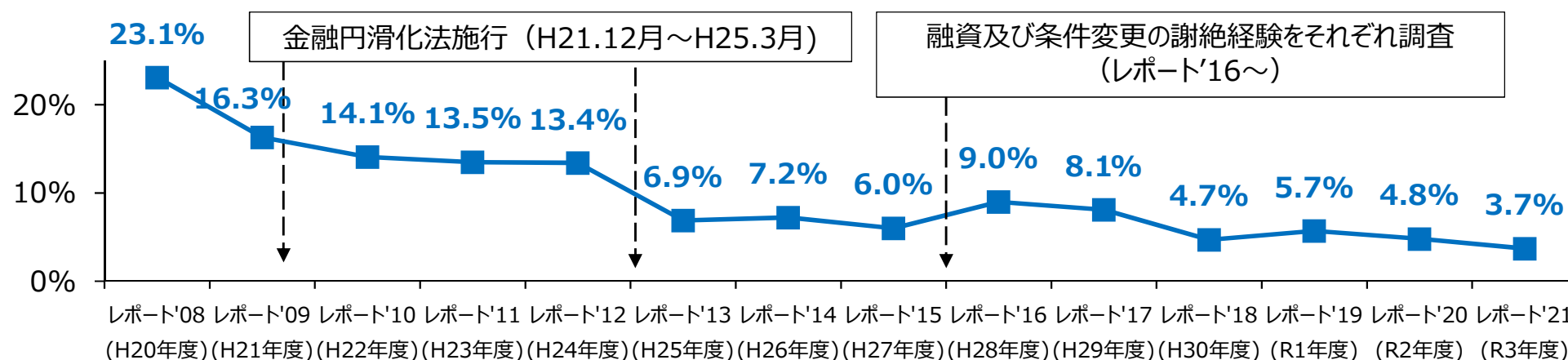
(n=1,476、有効回答数:592)

3.7%

(昨年度 4.8%)

〔 融資 **3.2%** / 条件変更 **4.6%** 〕
(昨年度 4.4%) / (昨年度 3.7%)

融資又は条件変更を謝絶された割合の推移

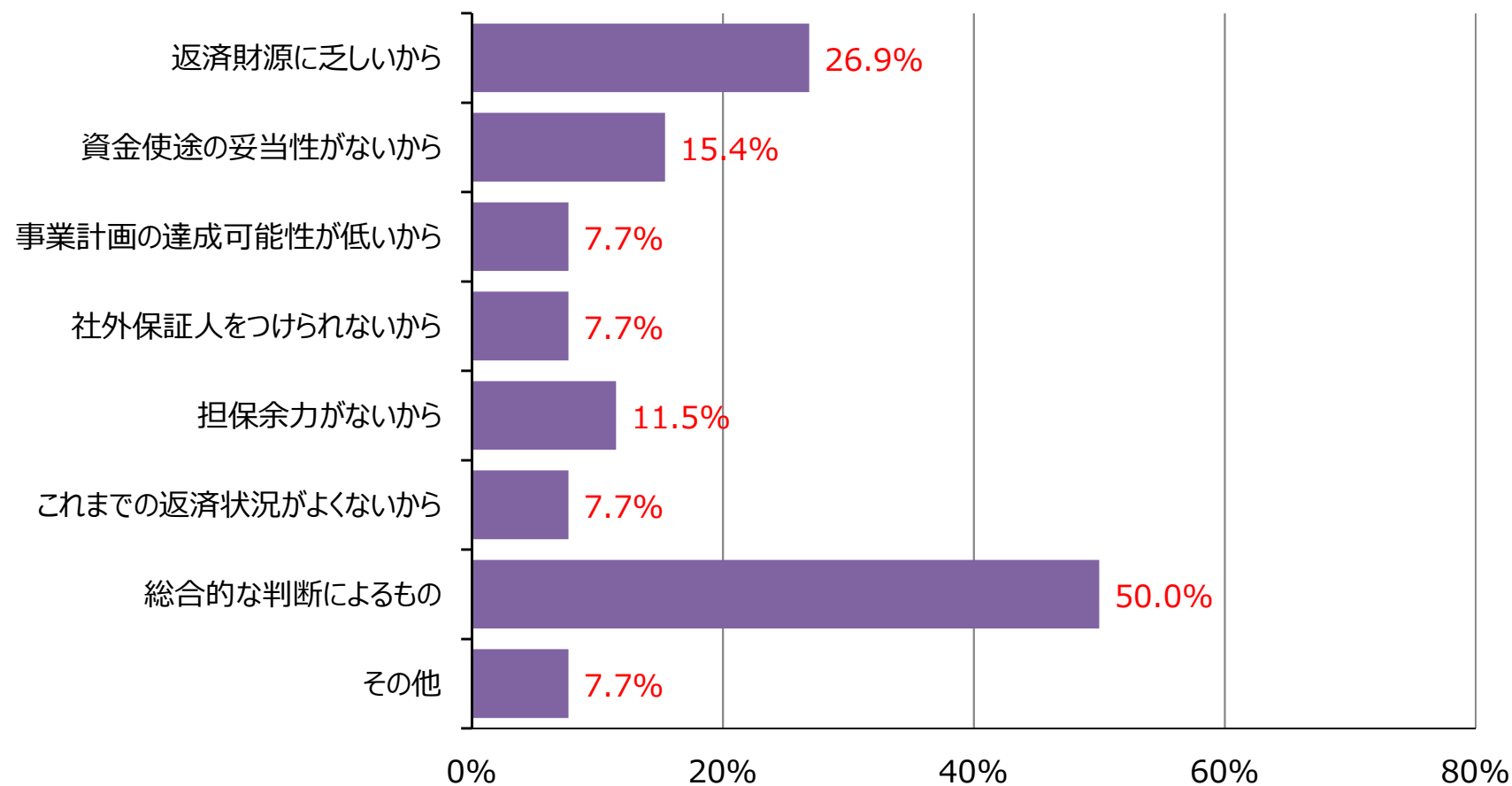


新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、引き続き中小企業の金融円滑化が図られていることが窺える。

2 謝絶理由

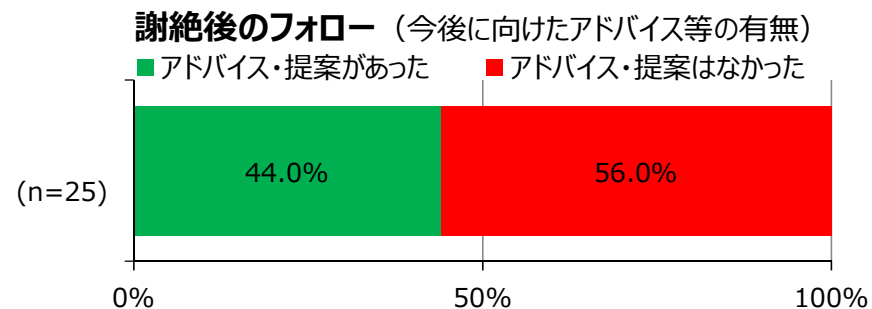
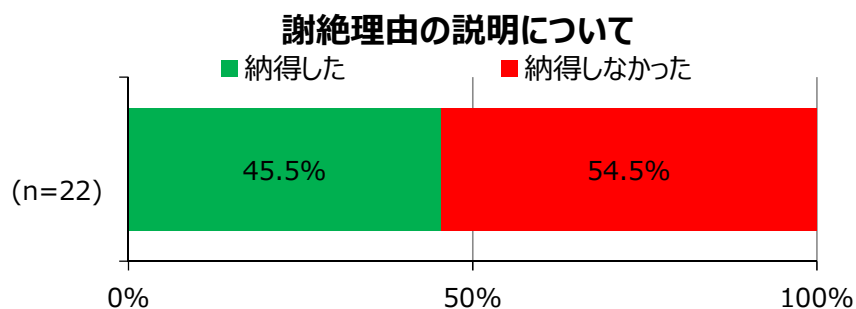
- 融資又は条件変更申込の謝絶理由は、「総合的な判断によるもの」が最多となり、次いで「返済財源に乏しいから」、「資金使途の妥当性がないから」の順となった。

融資又は条件変更申込の謝絶理由（複数回答、n=22）



3 謝絶時における金融機関（メインバンク）からのフォローの状況

- 謝絶理由の説明に対して「納得した」と回答した中小企業は、融資又は条件変更申込の謝絶経験がある中小企業者の45.5%となった。
- 謝絶後のフォローについて「アドバイス等があった」と回答した中小企業は、44.0%となった。

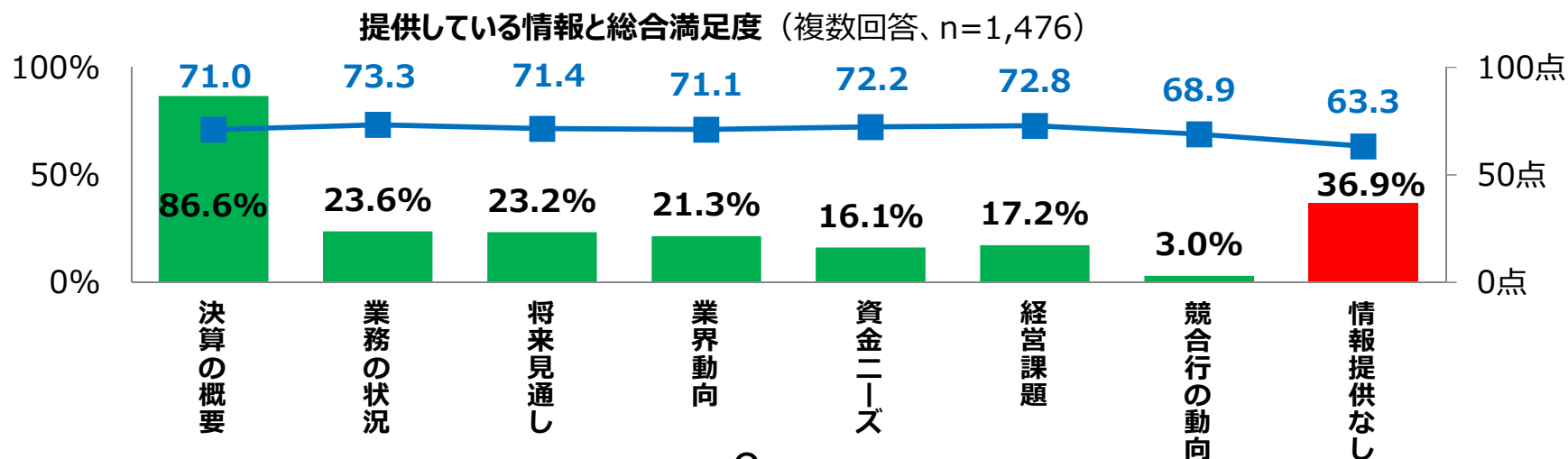
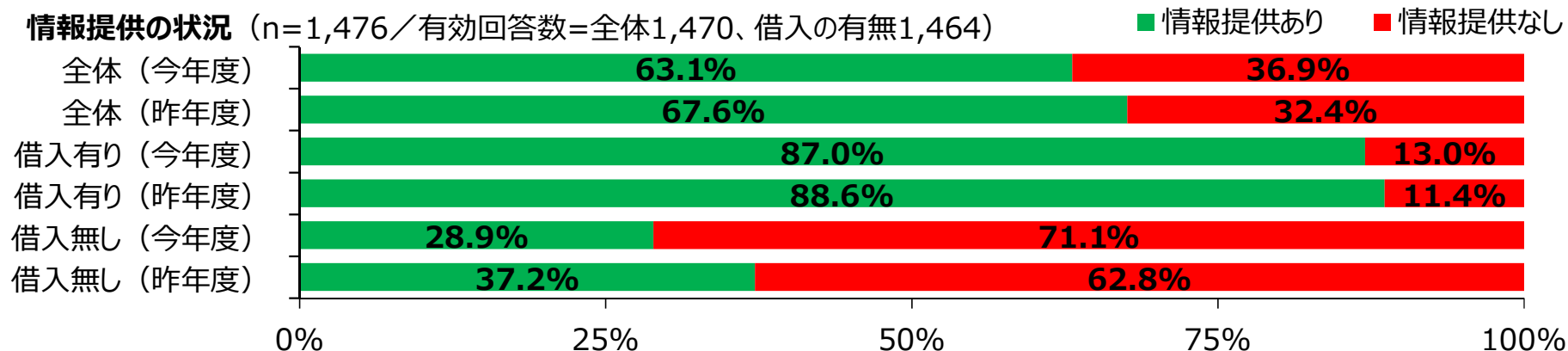


金融機関には、謝絶後において中小企業に対する丁寧なフォローが求められる。

IV 中小企業と金融機関（メインバンク）の相互理解促進への取組状況等

1 金融機関（メインバンク）に対する中小企業の情報提供の状況

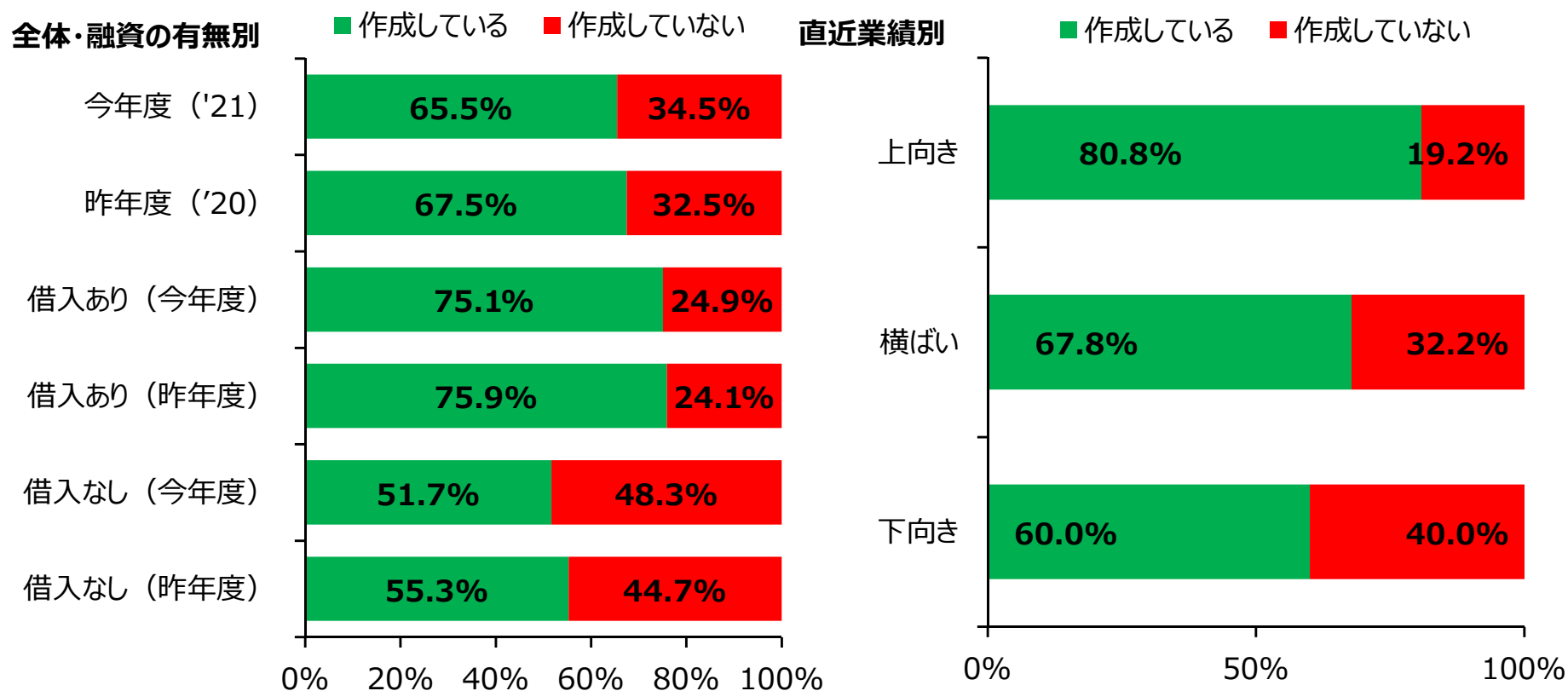
- 金融機関（メインバンク）に対し「情報を提供している」と回答した中小企業の割合は、全体の63.1%で、昨年度（67.6%）と比較して減少した。「借入あり」と回答した中小企業では87.0%（昨年度 88.6%）となった。
- 何らかの情報提供を行っている中小企業の総合満足度が比較的高くなっている。



2 試算表・資金繰り表・事業計画の作成状況

- 「試算表」を「作成している」と回答した中小企業の割合は、全体の65.5%で、昨年度（67.5%）と比較して減少した。「借入あり」と回答した中小企業では、75.1%となり、昨年度（75.9%）と比較して減少した。
- 直近業績が良い企業ほど、作成割合が高かった。

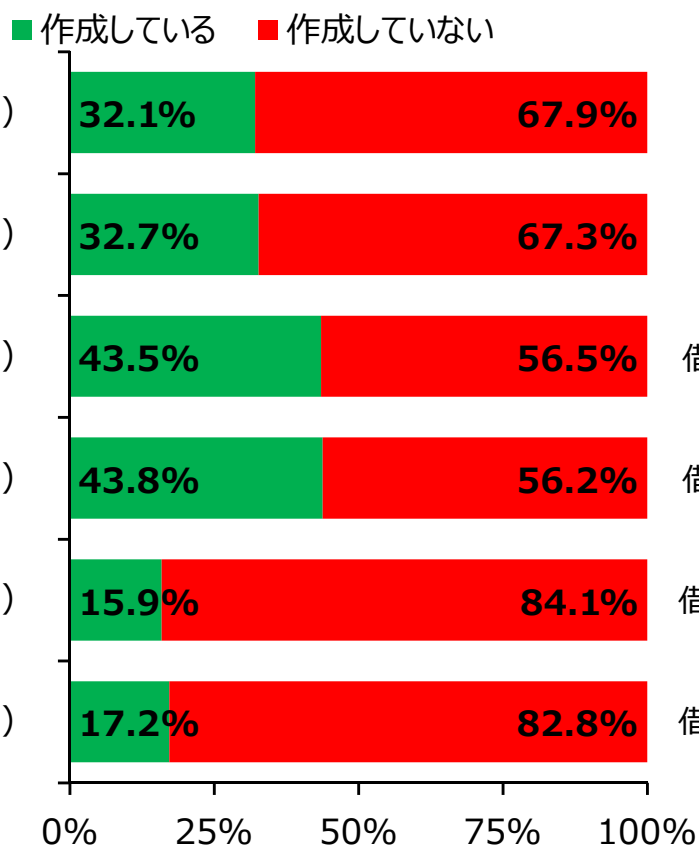
試算表作成状況（n=1,476／有効回答数=全体1,451、融資の有無別1,445、直近業績別1,440）



- 「資金繰り表」を「作成している」と回答した中小企業の割合は、全体の32.1%で、昨年度（32.7%）と比較して減少した。「借入あり」と回答した中小企業では43.5%（昨年度43.8%）となった。
- 「事業計画」を「作成している」と回答した中小企業の割合は、全体の23.7%で、昨年度（22.7%）と比較して増加した。「借入あり」と回答した中小企業では31.6%（昨年度31.0%）となった。

資金繰り表作成の有無

(n=1,476/有効回答数：全体1,407、借入の有無別1,401)



事業計画作成の有無

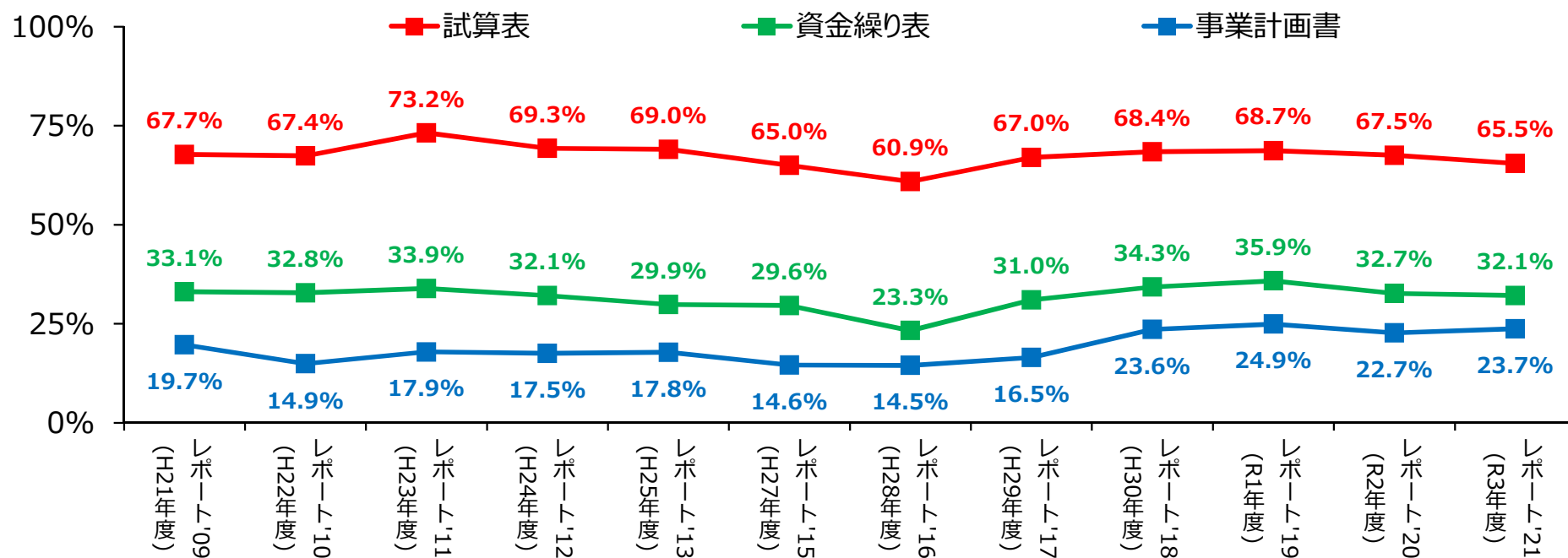
(n=1,476/有効回答数：全体1,403、借入の有無別1,398)



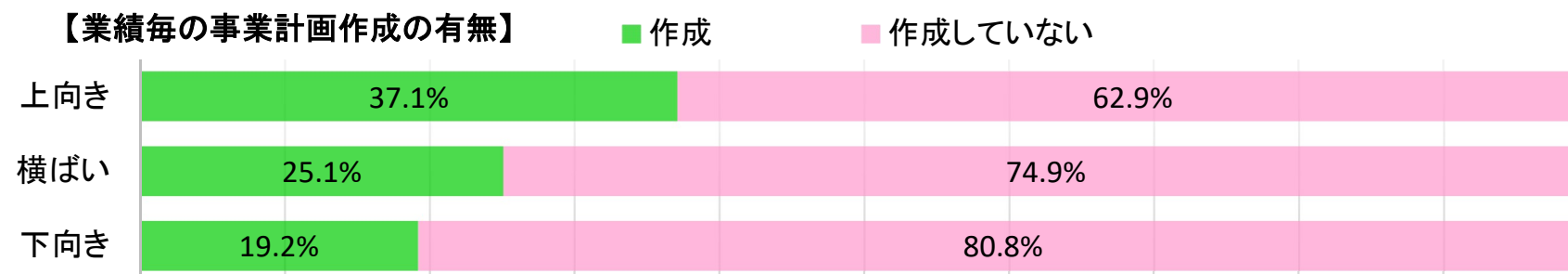
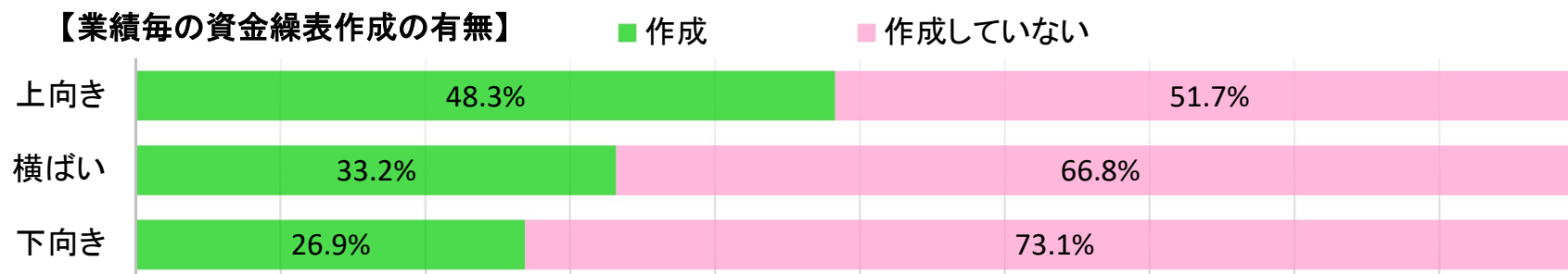
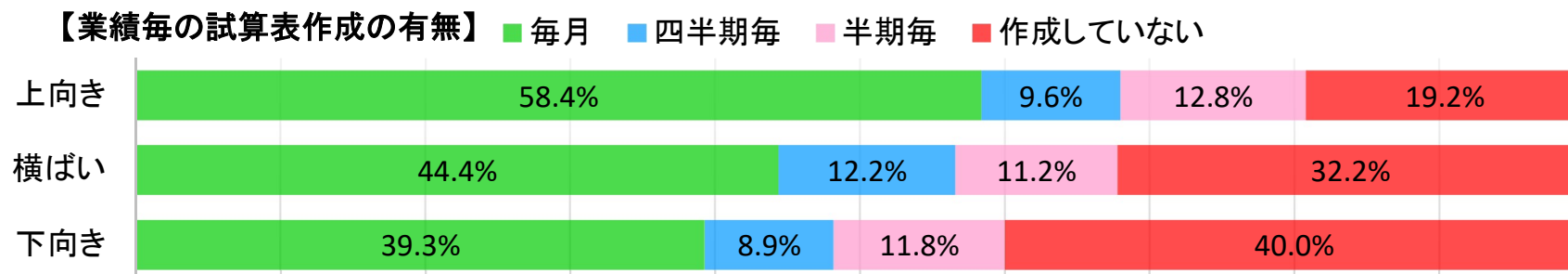
「試算表」「資金繰り表」「事業計画」の作成状況まとめ

- 試算表、資金繰り表の作成割合が昨年度より減少し、事業計画書の作成割合が昨年度より増加した。

試算表等の作成状況の推移 ③レポート'14未調査



○ 業績が上向きな中小企業ほど試算表、資金繰り表、事業計画書の作成割合が高い。



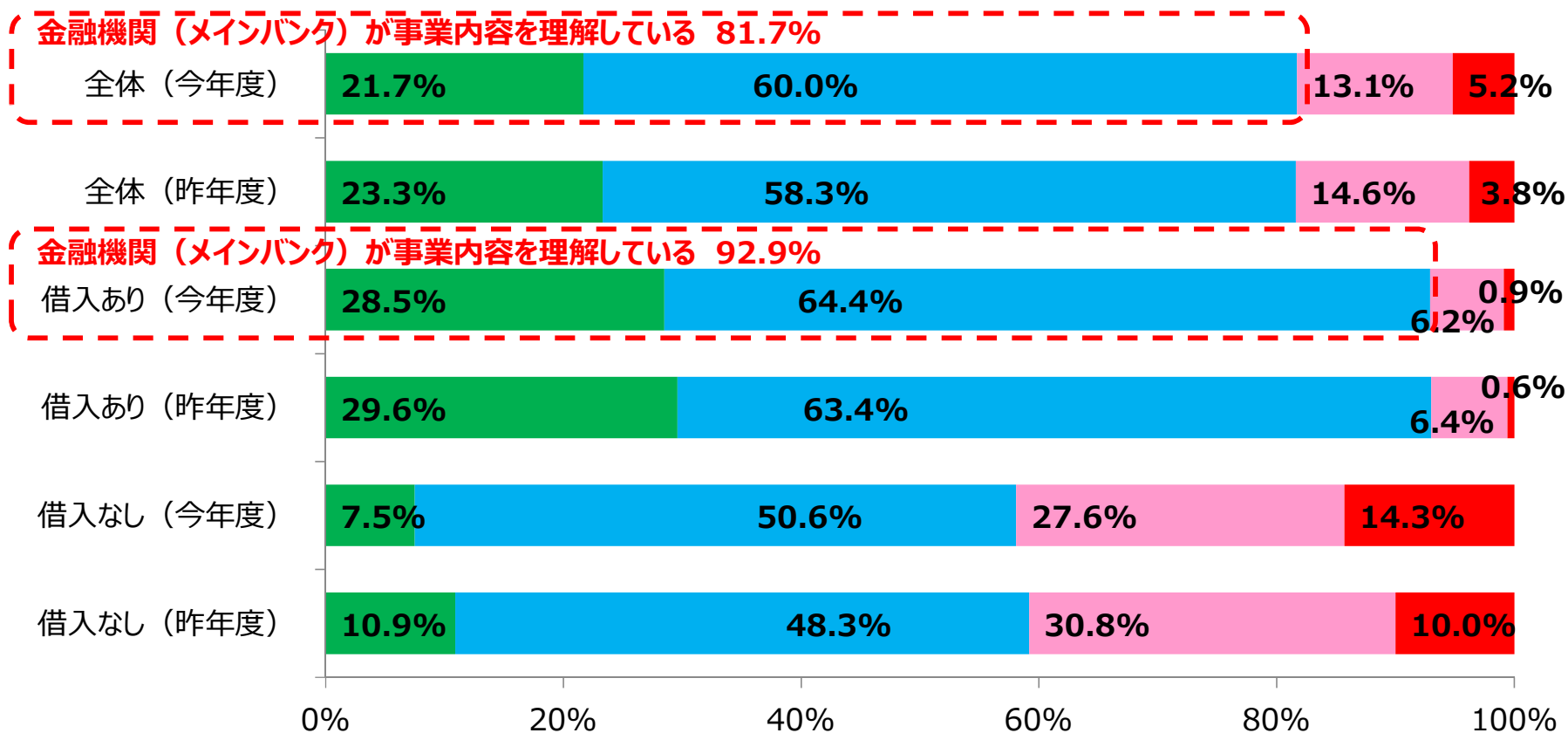
試算表及び資金繰り表の作成割合は、前回（昨年度）に比べ低下している。一方で、業績が上向きな企業ほど試算表等の作成割合が高い傾向にある。引き続き、試算表等の作成を事業者側に提案することや、作成支援を行うことが必要となる。

3 中小企業の事業内容に対する金融機関（メインバンク）の理解度

- 自社の事業内容を金融機関（メインバンク）が理解している（「明確に理解している」+「ある程度理解している」と回答した中小企業の割合は、全体の81.7%で、昨年度（81.6%）と比較して増加した。
- 「借入（残高）あり」と回答した中小企業では92.9%で、昨年度（93.0%）と比較して減少した。

事業内容の理解度（n=1,476／有効回答数：全体1,224、借入の有無別1,223、「わからない」を除き集計）

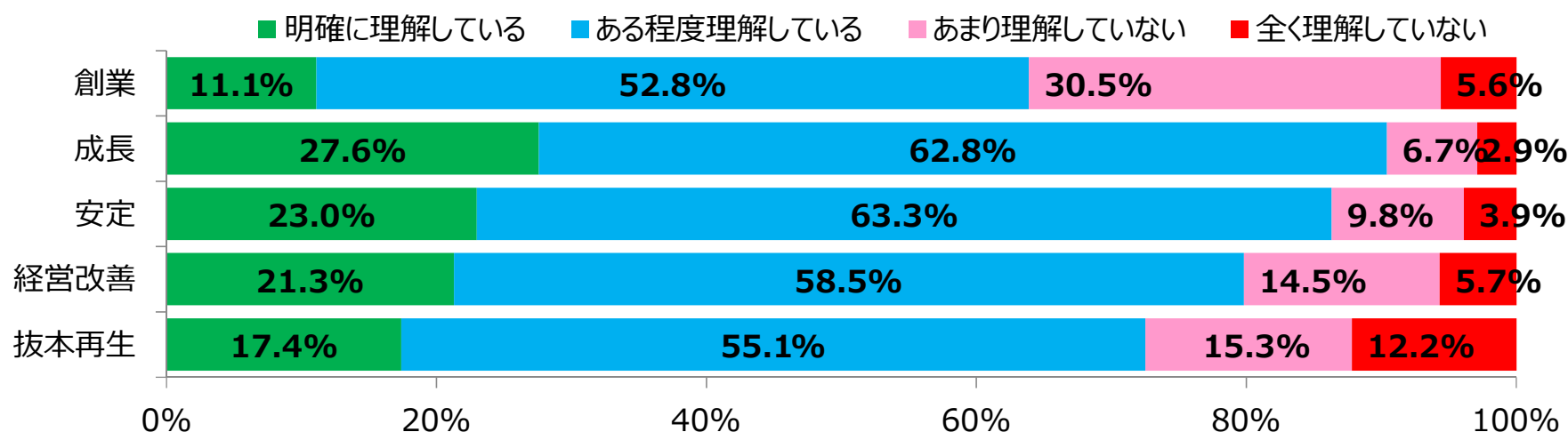
■ 明確に理解している ■ ある程度理解している ■ あまり理解していない ■ 全く理解していない



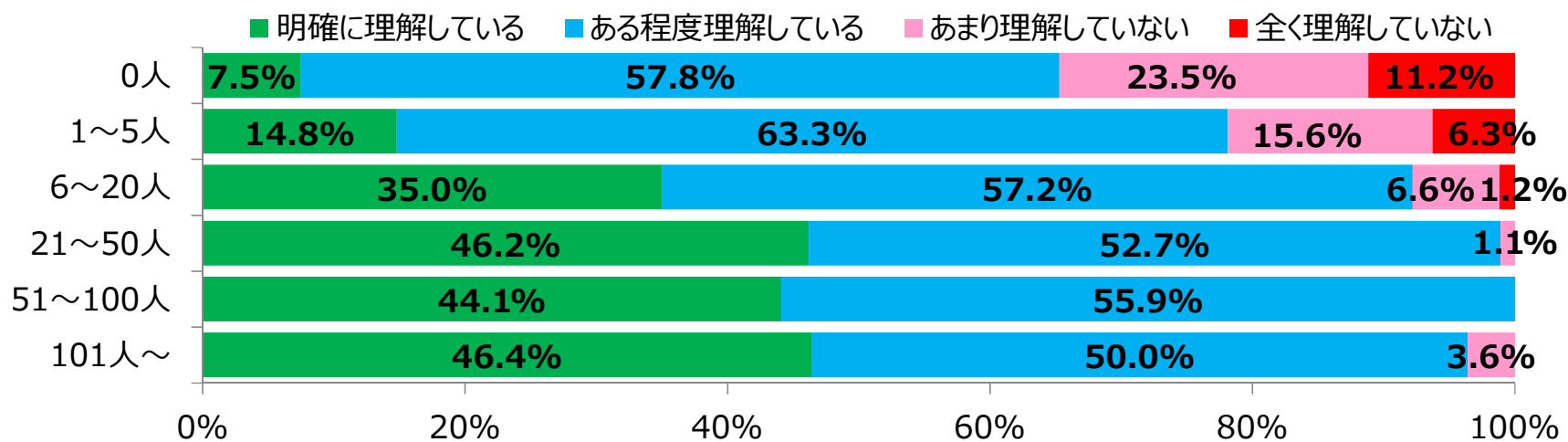
- ライフステージ別では、自社の事業内容を金融機関（メインバンク）が理解している（「理解している」＋「ある程度理解している」）と回答した中小企業の割合は成長期の企業が最も高くなっている。また、企業規模別では、規模が大きい程、理解していると回答した中小企業の割合が高い傾向にある。

事業内容の理解度（n=1,476／有効回答数=ライフステージ別1,198、規模別=1,221、「わからない」を除き集計）

ライフステージ別



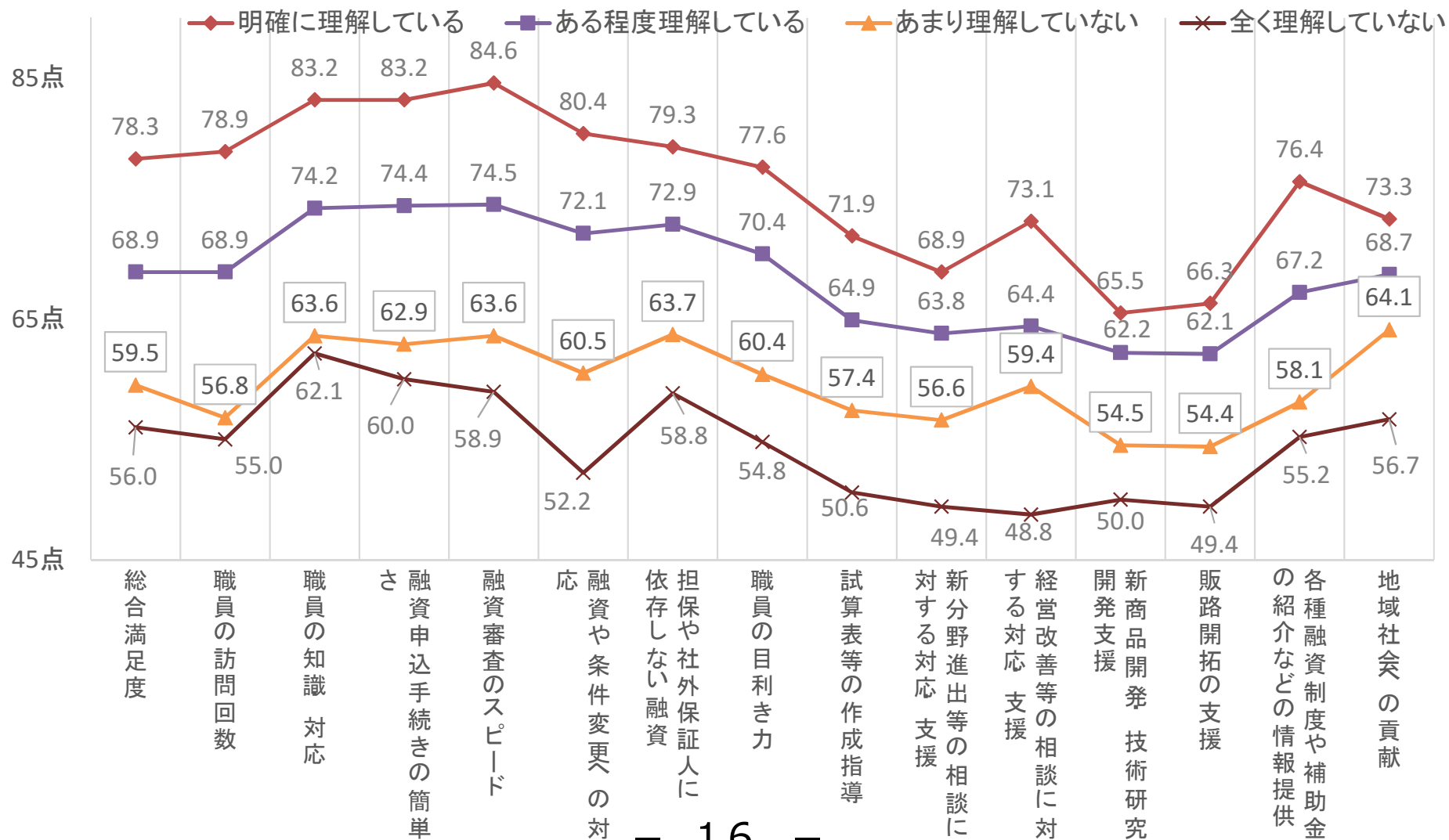
企業規模別



4 “金融機関（メインバンク）の理解度”と“個別項目別満足度”との関係

- 金融機関（メインバンク）が事業内容を理解していると回答した中小企業ほど、個別項目満足度が高くなっている。

「金融機関（メインバンク）の理解度」と「個別項目満足度」との関係



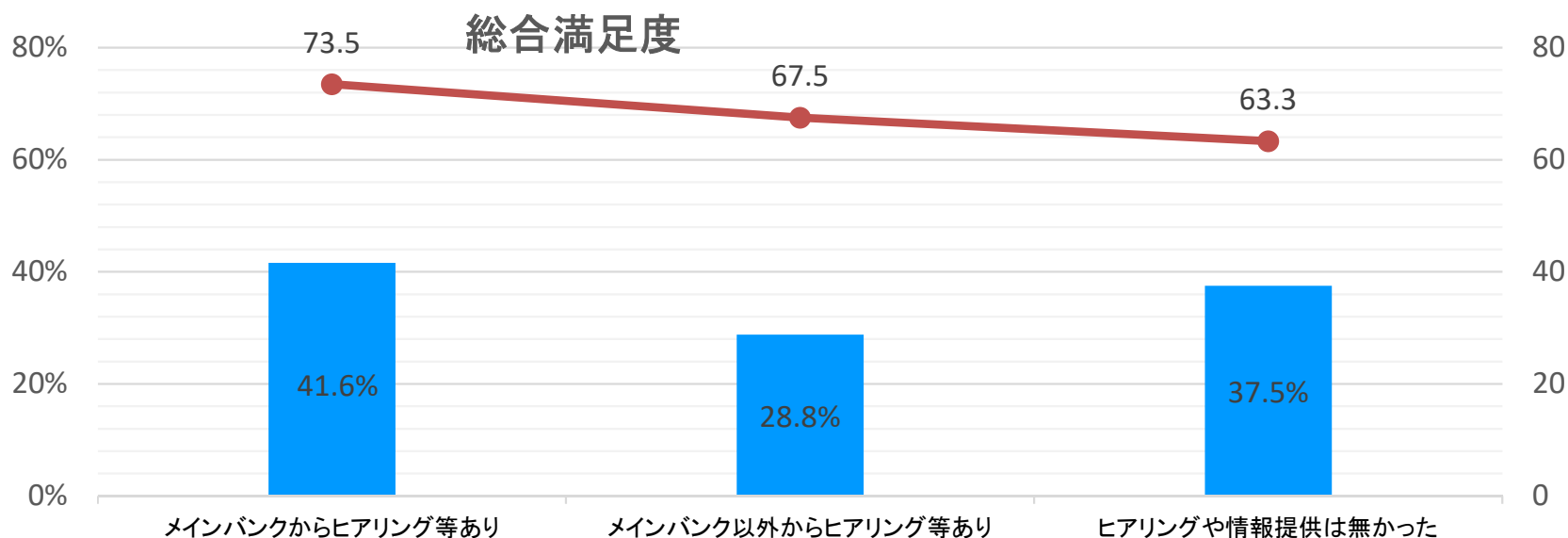
V 新型コロナウイルス感染症関連融資について

新型コロナウイルス感染症関連融資について、金融機関からの情報提供や融資の状況、関連する手続について回答結果をとりまとめた。

1 新型コロナウイルス感染症に関連して、メインバンク等からのヒアリングや、情報提供の有無

- メインバンクからのヒアリングや情報提供が最も多く41.6%、次いでメインバンク以外が28.8%となった。
- ヒアリングや情報提供があった中小企業の総合満足度が高い。

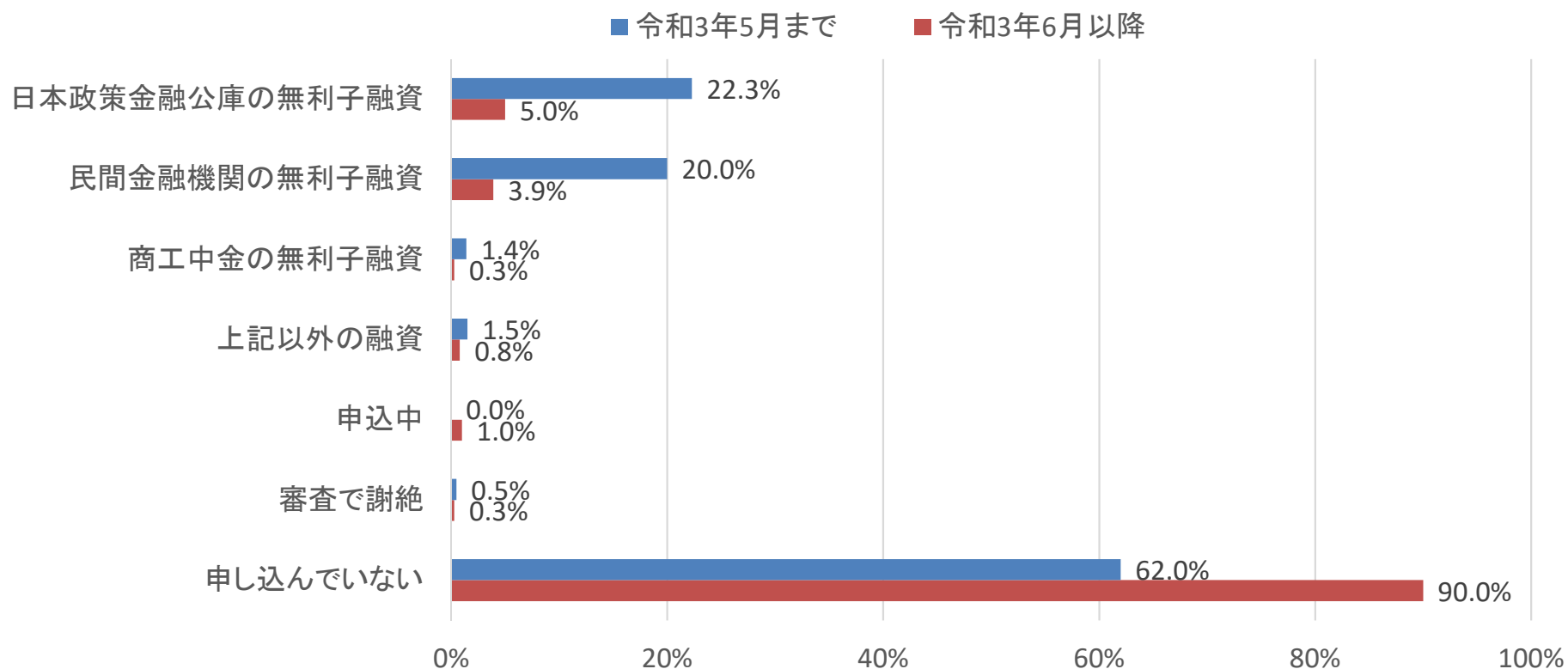
新型コロナウイルス感染症関連のヒアリングや情報提供等について（複数回答 n=1,461）



2 新型コロナウイルス感染症関連融資の利用状況について

- 令和3年5月までの新型コロナウイルス感染症関連融資の利用状況は、日本政策金融公庫の無利子融資が最も多く22.3%、次いで民間金融機関の無利子融資20.0%となった。
- 民間金融機関のゼロゼロ融資が終了した令和3年6月以降の新型コロナウイルス感染症関連融資の利用状況は、日本政策金融公庫の無利子融資が5.0%、民間金融機関の無利子融資が3.9%となり、大きく減少した。

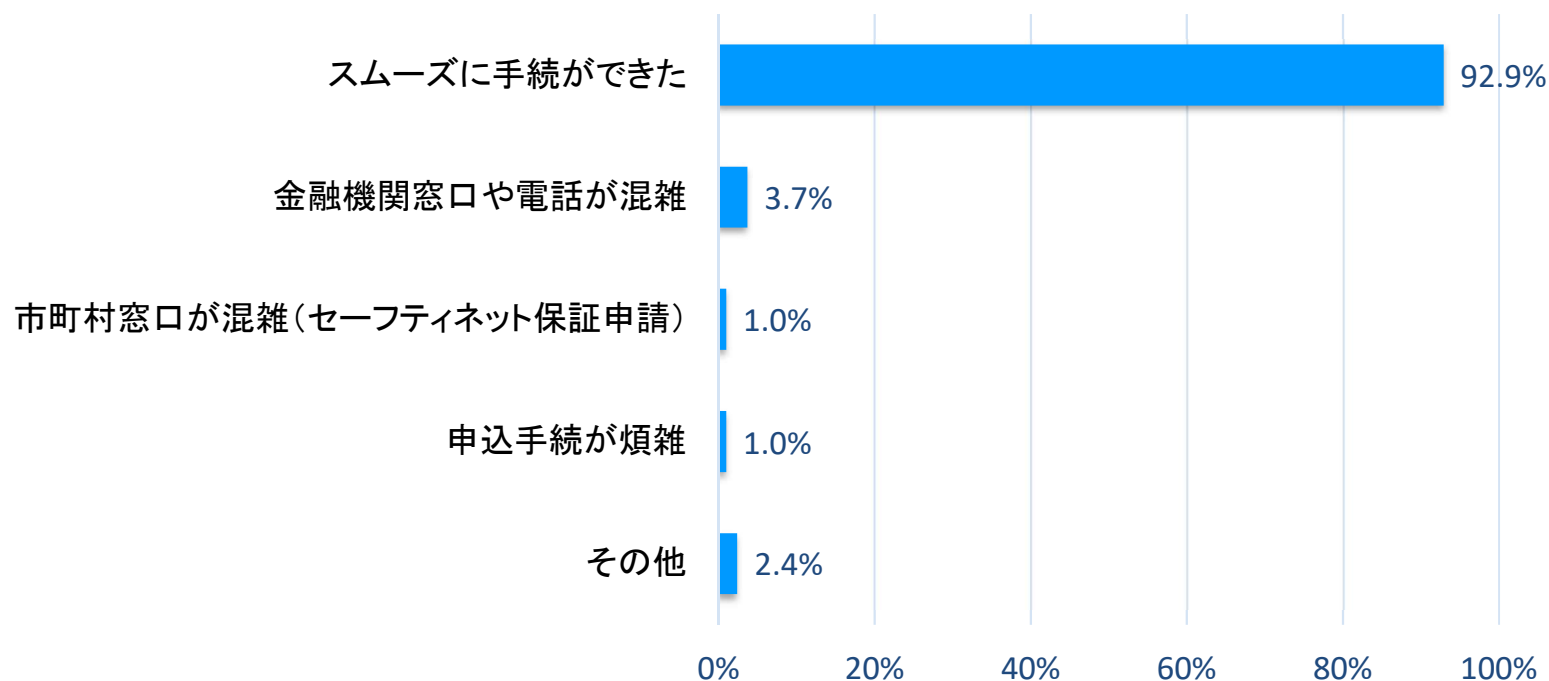
新型コロナウイルス感染症関連融資を受けたか（複数回答 令和3年5月まで n=1,464、令和3年6月以降 n=1,450



3 新型コロナウイルス感染症関連の融資手続について

- 融資手続きについて、スムーズに手続ができたとの回答が92.9%となった。

融資手続きについて（複数回答 n=590）

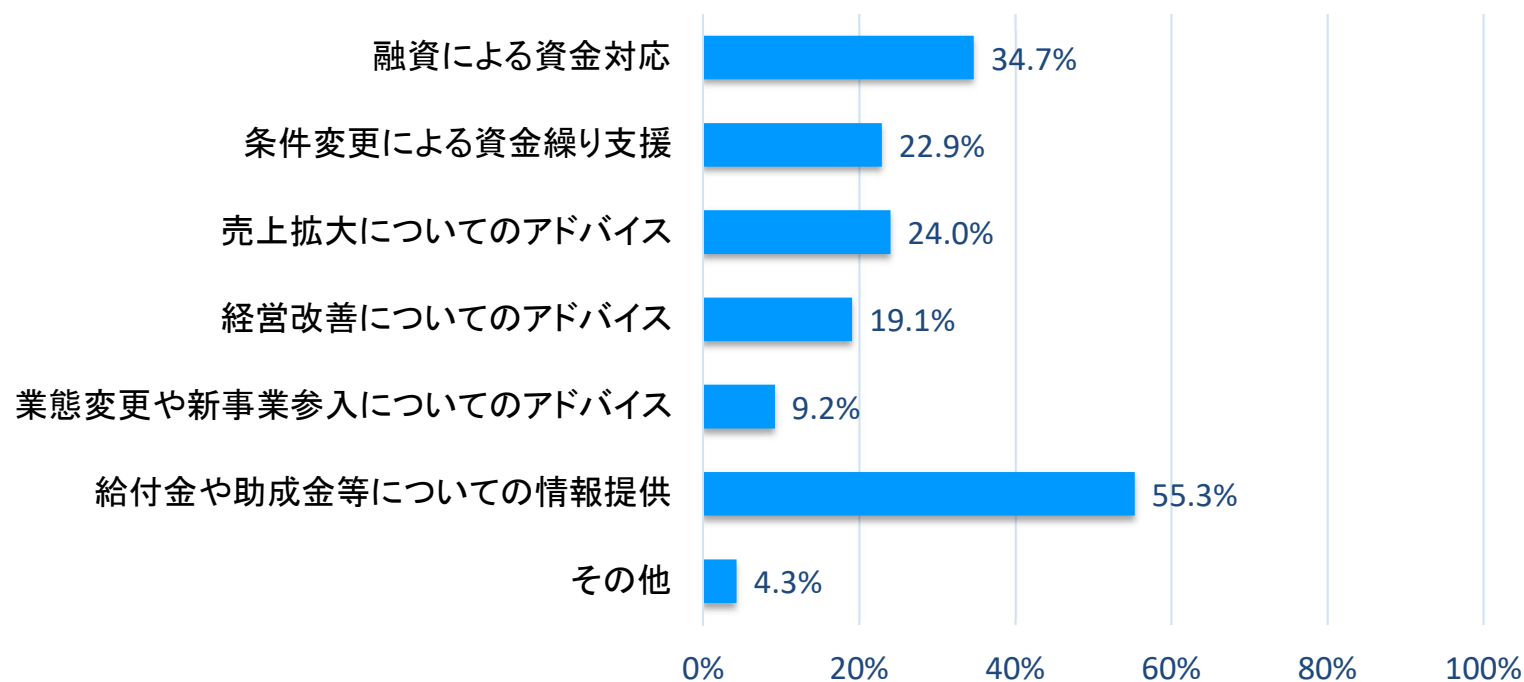


新型コロナウイルス感染症の融資手続については、無利子化融資など、申込件数が多い中であっても、金融機関や関係機関による対応がスムーズになされていることが窺える。

4 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で金融機関に望むこと

- 金融機関の望むことについては、給付金や助成金等についての情報提供が55.3%、融資による資金対応が34.7%、売上拡大についてのアドバイスが24.0%となった。

金融機関に望むこと（複数回答 n=1,370）

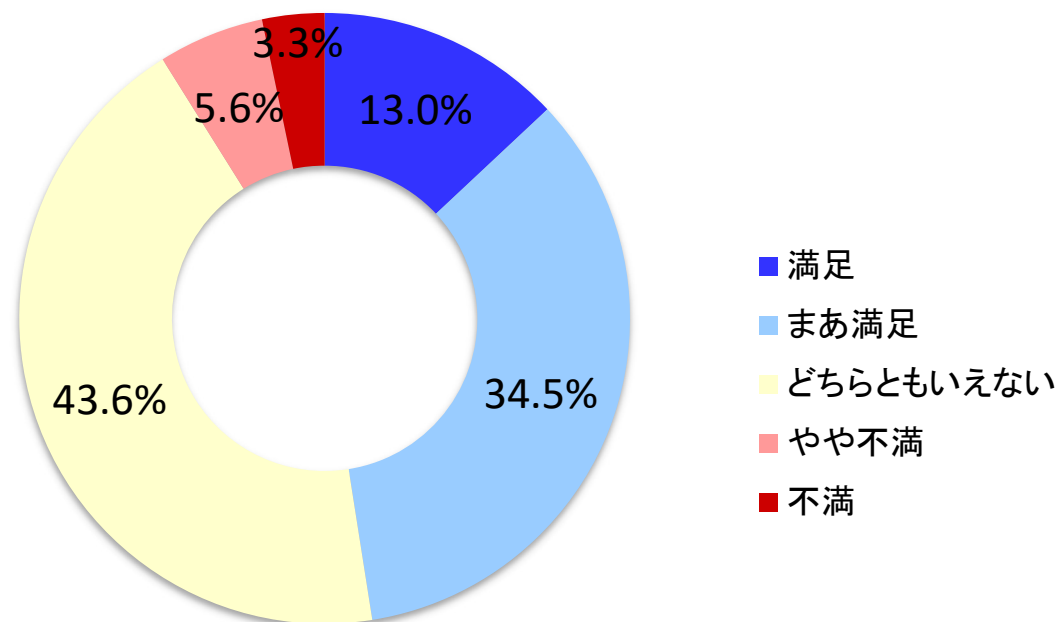


新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、金融機関に対しては、融資や条件変更等の資金繰り支援だけでなく、売上拡大や経営改善についてのアドバイスや、助成金等についての情報提供など、様々なニーズが寄せられている。

5 新型コロナウイルス感染症の対応についての金融機関に対する満足度

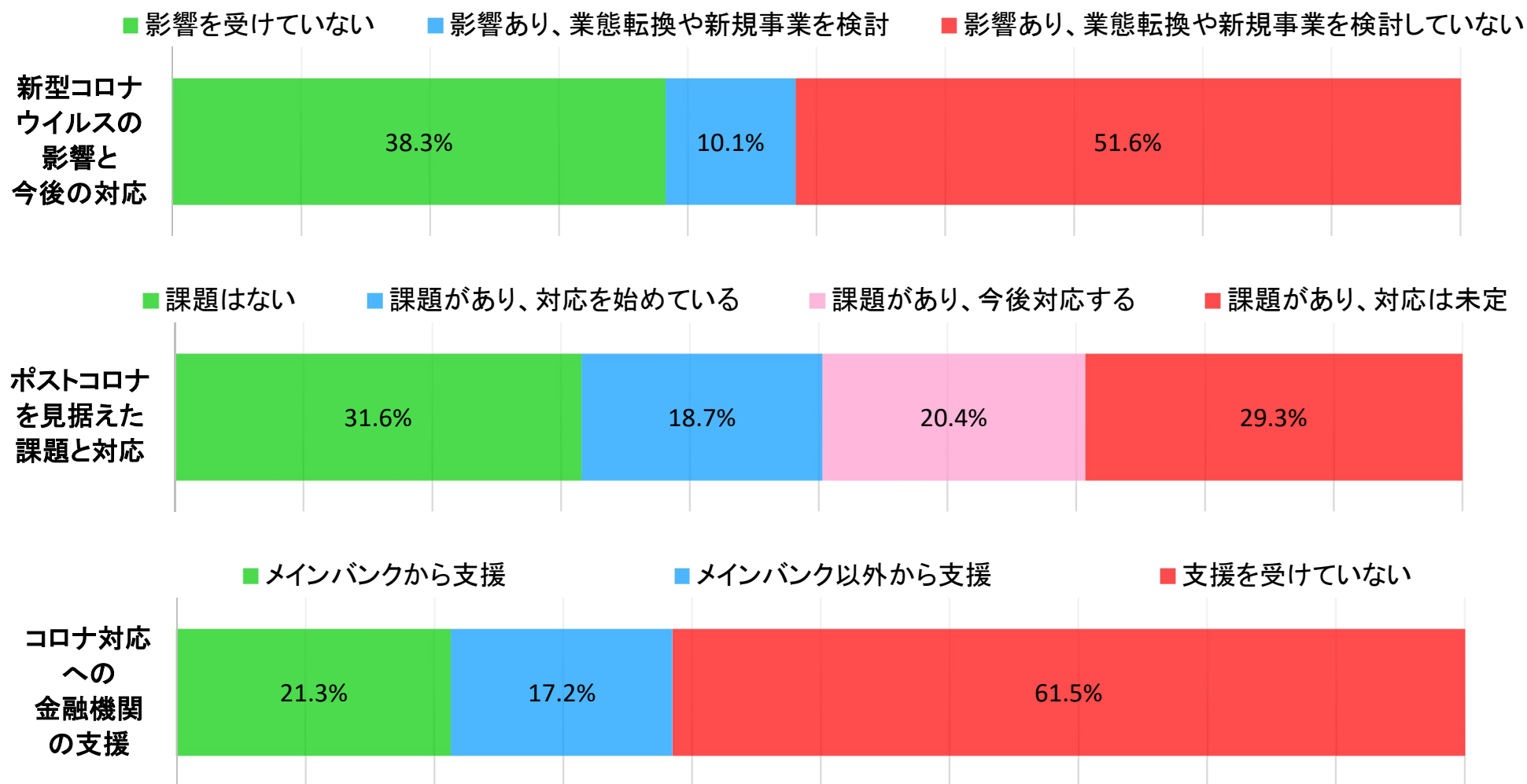
- 金融機関への満足度については、満足が13.0%、まあ満足が34.5%で、この2つをあわせた数値は47.5%となった。また、不満は3.3%、やや不満が5.6%でこの2つをあわせた数値は8.9%となった。

コロナ対応についての金融機関に対する満足度（複数回答 n=1,439）



新型コロナウイルス感染症の対応について、金融機関の対応が概ね評価されていることが窺える。

6 新型コロナウイルス感染症の影響と今後の対応



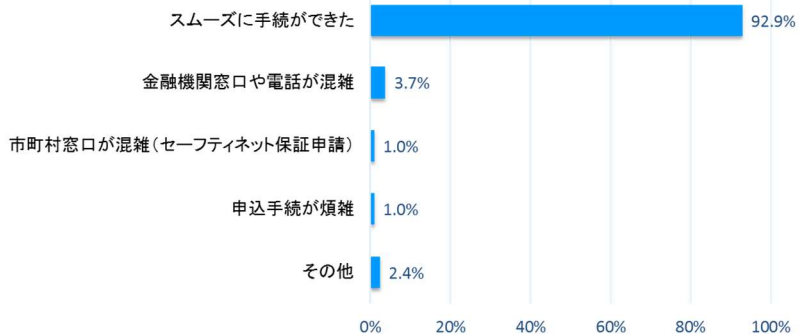
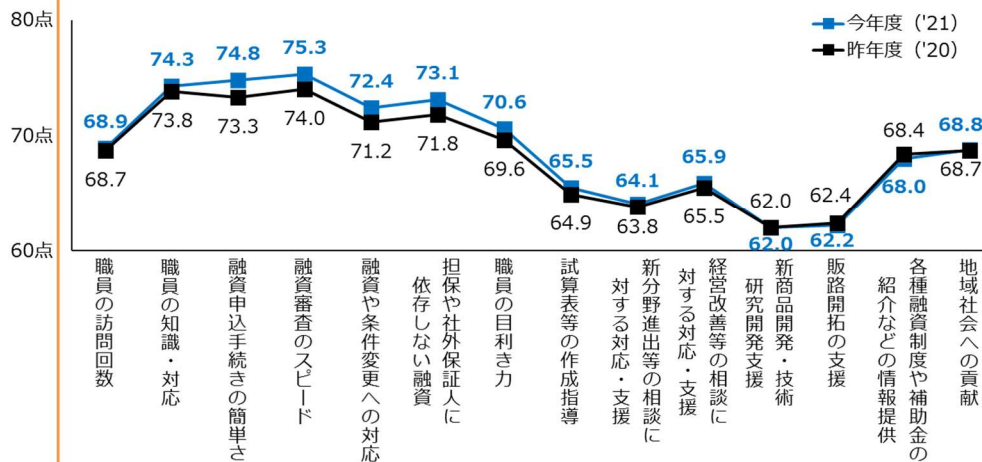
多くの事業者が新型コロナウイルスの影響を受けていると回答する一方、課題への対応についてはまだ進んでいない現状が窺えるほか、金融機関からの支援を受けていないとの回答が多く、金融機関による支援の余地が十分に残されていると考えられる。

VI 地域密着型金融の推進によりコロナ禍を克服した先の「選ばれる青森県」の実現へ向けて

現状

新型コロナウイルス感染症の影響により、中小企業の資金繰りが厳しい中、積極的な支援が継続されている。

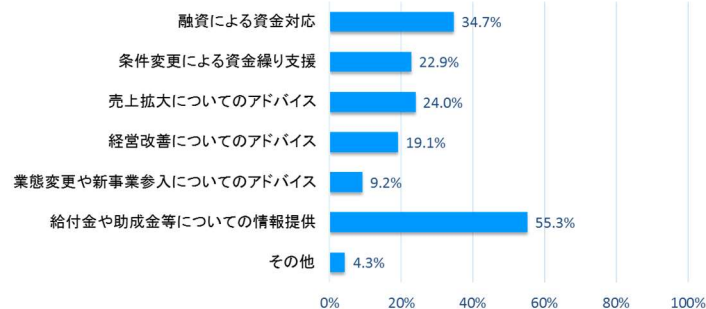
- ・融資に関する項目の満足度が高く、コロナ禍において、各金融機関の積極的な支援姿勢が継続されていることが窺える。
- ・融資手続についても、スムーズに行えたとの回答が多数となった。
- ・これまで取り組んできた地域密着型金融の推進により、コロナ禍においても適時適切な資金繰り支援が継続されていることが窺える。



未来

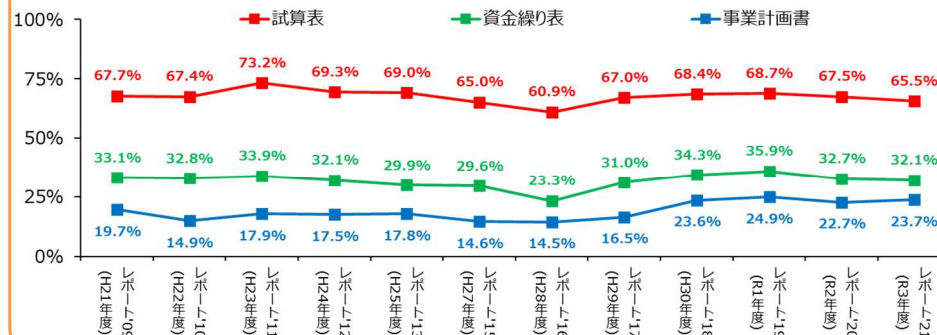
相互理解を深め、関係機関が一体となって経営支援等に取り組み、コロナ禍を乗り越えるとともに、コロナ後を見据えた取り組みを進め、地域経済の早期回復を図る。

- ・金融機関や関係機関が連携し、資金繰り支援に留まらない、ポストコロナを見据えた多様な経営支援を積極的に展開していく。



- ・中小企業は、試算表や資金繰り表、事業計画書について作成するなど、金融機関へ積極的に情報提供し、コミュニケーションの深化を図る。

試算表等の作成状況の推移 ⑧レポート14未調査



提言

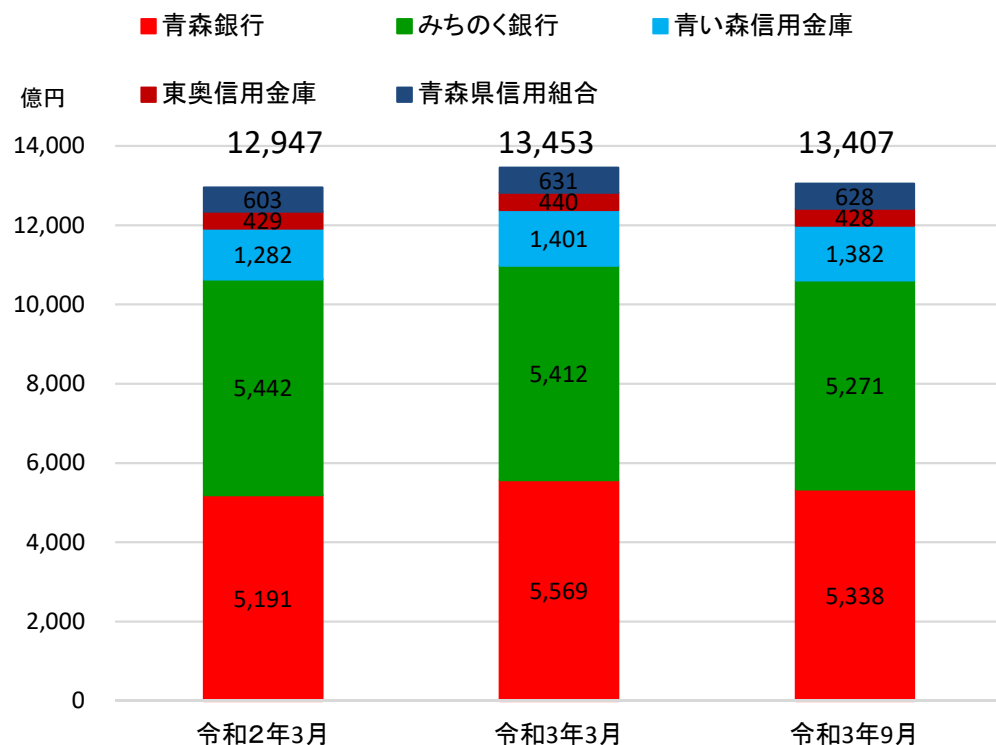
コロナ禍を克服した先を見据えた中小企業と金融機関との一層のコミュニケーションの深化

Ⅶ 金融機関における資金供給等の状況

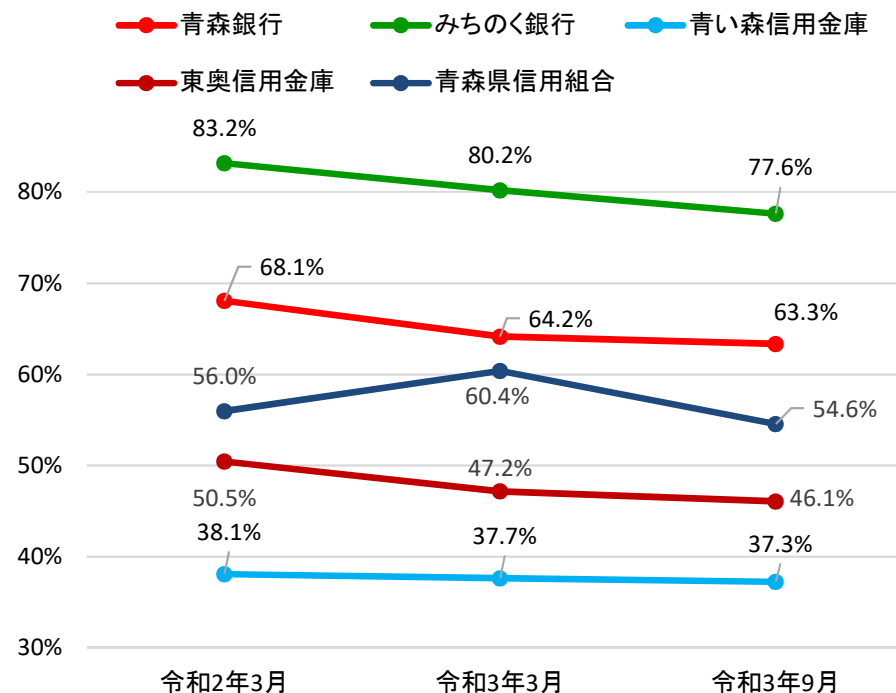
1 金融機関における資金供給の現状

- 県内金融機関における中小企業等向け事業性資金の貸出残高は、令和3年3月まで増加し、令和3年9月には減少している。
- 県内に本店を有する金融機関における預貸率は、低下傾向で推移している。
- コロナ関連融資が増加した影響が窺える。

県内金融機関における中小企業向け
事業性資金の貸出残高の推移



県内金融機関における預貸率の推移



2 金融機関における多様な資金供給の状況

- 多様な資金供給の状況として、A B L や私募債、経営者保証ガイドラインの活用等の手法による資金供給の取扱いが進んでいる。

※県内に本店を有する金融機関の実績

種類	活用のメリット	直近(令和2年度～令和3年度上半期)の実績※			
A B L (動産・売掛金担保融資)	<ul style="list-style-type: none"> 借り手にとっては、これまで担保としてあまり活用されてこなかった動産・売掛金担保を活用することにより、円滑な資金調達に資することが期待される。 金融機関にとっては、中小企業の動産・売掛金担保などを継続的にモニタリングすることを通じて、中小企業の経営実態をより深く把握することが可能となり、信用リスク管理の強化が期待される。 	令和2年度	83件	100億円	
		令和3年度上半期	29件	90億円	
私募債 (少数・特定の投資家を対象に発行される社債)	<ul style="list-style-type: none"> 中小企業にとっては、資金調達の多様化が図られるとともに、固定金利の長期安定資金を調達できるほか、毎月の返済がない（一括償還）場合もあり、返済計画に余裕が持てる、中小企業のイメージアップ、発行手続きが簡単などのメリットがある。 	令和2年度	88件	94億円	
		令和3年度上半期	51件	42億円	
ファンドを通じた出資	<ul style="list-style-type: none"> 中小企業にとっては、資金調達の手段として重要な選択肢の一つであり、（融資のような）担保や返済期限利息の支払いがなく、ファンドの設立目的（創業、成長支援、新事業展開、事業再生等）達成に向けた経営上の支援も期待できる、などのメリットがある。 	ルネッサンスエイトファンド、令和元年台風及び新型コロナウイルス等被害東日本広域復興支援ファンド、地域経済エコシステム支援ファンド、みちのく地域活性化ファンド、等			
経営者保証ガイドラインの活用	<ul style="list-style-type: none"> 経営者にとっては、一定の要件の下で経営者保証に過度に依存した融資慣行が改善され、思い切った事業展開や早期の事業再生などに取り組みやすくなる、などのメリットがある。 		元年度	2年度	3年度上半期
		新規に無保証で融資した件数 (ABL除く)	5,935	7,846	3,308
		保証契約を解除した件数	617	625	353

3 経営改善支援の取組

- 経営課題を有する取引先中小企業を経営改善支援先と位置づけ、解決に向けて取り組んでいる。

	期初債務者数※	うち経営改善支援 取組先数 α ※	うち期末に債務者区分が ランクアップした先数 β ※ (ランクアップ率 β/α)	うち再生計画 策定先数※
平成30年度実績	25,554	613	39 (6.4%)	318
令和元年度実績	25,419	696	40 (5.7%)	388
令和2年度実績	25,297	667	29 (4.3%)	275

※県内に本店を有する金融機関（メインバンク）の実績

4 セミナー・研修会・勉強会等の開催

- 県内の金融機関及び商工団体等において、中小企業の経営力強化等に向けて、経営や金融、補助金等の各分野をテーマとした勉強会・研修会・セミナー等が開催されている。

実施機関	県内金融機関・商工団体によるセミナー・研修会等（主なもの）
青森銀行	■「21年度介護保険制度改正情報」無料オンラインセミナー ■「新型コロナ対応、BCP策定 必ず押さえない法的ポイント解説講座」 ■「人を軸にした、リーダーとしてのマネジメント基礎講座」 ■「文化観光まちづくりセミナー」
みちのく銀行	■創業・企業座談会及び支援制度説明会（青森・弘前・八戸・五所川原・黒石・むつ・三沢・十和田） ■ものづくり企業向けオンラインセミナー
青い森信用金庫	■中小企業経営力強化研修会 ■青年経営者の会セミナー ■経営相談会
東奥信用金庫	■中小企業経営力強化研修会（しんきん拠点研修会）WEBセミナー ■中小企業財務セミナー
青森県信用保証協会	■創業者向けセミナー「集客アップにつながるプレミアムレッスン」 ■創業セミナー「輸出初心者のためのはじめの一步セミナー」「具体的なSNS広告活用実践セミナー SNS広告のイロハ」 ■経営支援セミナー2021～地方創生に向けた創業・経営改善・事業承継支援のあり方について～ ■個人事業主向け創業セミナー「オンライン税務セミナー」

実施機関	県内金融機関・商工団体によるセミナー・研修会等（主なもの）
青森商工会議所	<p>■新型コロナウイルスに負けない！事業再構築支援セミナー ■ 1日でわかる！経理の基本と実務セミナー 政府支援施策を活用してコロナを乗り越える！支援制度講習会 & 個別相談会 ■ withコロナ時代のSNS・動画を活用した販促手法セミナー ■ 新たなリスクに向けた事業継続計画！リスクマネジメントセミナー ■ 事業再構築補助金、持続化補助金(低感染リスク型)等個別相談会 ■ 「この店で買おう」の理由になるラッピングセミナー ■ インボイス制度講習会押さえておきたいポイントと実務対策セミナー ■ 定着率が高まる職場づくり5つのコツ 職場改善セミナー ■ 新入社員セミナー ■ あおもりスタートアップ支援セミナーあお★スタオンライン ■ あお☆スタピッチ交流会 SUMMER SELECTION 2021 ■ あお☆スタピッチ交流会 FINAL SELECTION 2022</p>
弘前商工会議所	<p>■ 事業再構築補助金セミナー ■ 新型コロナウイルス感染症に対する政府の施策支援と概要講習会 ■ 小規模事業者持続化補助金セミナー ■ 新入社員フォローアップ研修 ■ 制度改正に伴う専門家派遣制度等事業についての個別相談会 ■ インボイス制度の概要実務上対応のポイントセミナー ■ ひろさき未来塾</p>
八戸商工会議所	<p>■ 各種補助金講習会 & 相談会 ■ ウイズ/ポストコロナの経済と企業経営 ■ 広報戦略Webセミナー「あなたの広報戦略は間違っていますか？」 ■ 「事業再構築補助金」獲得セミナー ■ 広報戦略Webセミナー「自社のブランディング向上に繋がるYouTubeの活用法」 ■ 青年部/広報戦略セミナー（オンライン） ■ 販路開拓セミナー「輸出初心者のためのはじめの一步セミナー」 ■ 女性創業スクール ■ 「企業価値を上げるための財務管理」 ■ 「インボイスセミナー」 ■ 事業承継セミナー「事業の未来を描くための『つなぐ』セミナー」 ■ 創業スクール ■ 「持続化補助金獲得」セミナー ■ セミナー「商品リニューアルのすすめ」</p>
黒石商工会議所	<p>■ 小規模事業者持続化補助金（一般型・低感染リスク型ビジネス枠）対応経営計画作成支援オンラインセミナー ■ 経営計画作成支援個別相談会</p>
五所川原商工会議所	<p>■ 飲食店売上アップセミナー</p>
十和田商工会議所	<p>■ インボイス制度事前準備・対策講座 ■ 1日でわかる！総務の基本と実務 ■ withコロナ時代のSNS・動画を活用した販促手法セミナー</p>
青森県中小企業団体中央会	<p>■ 中小企業施策普及講習会 ■ 組合等管理者講習会 ■ インボイスセミナー ■ 決算・税務講習会 ■ 労務管理講習会 ■ SDGs講習会</p>
商工会連合会	<p>■ 伴走型支援推進モデル事業「事業計画策定セミナー」 ■ 伴走型支援推進モデル事業「事業承継計画セミナー」 ■ 伴走型販路開拓支援事業「新規事業者デザイン支援事業」 ■ 下北地域小さな企業の商品・サービス等（動画DE）プロモーション事業 ■ 業種別講習会「HACCP義務化対応セミナー」 ■ 「インボイス制度実務上の対応」 ■ 「5年で売上2倍、その具体例を教えます」 ■ 「2021年6月HACCP完全施行」 ■ 「建設業法等、経審改正のポイント」 ■ 「Line公式アカウント集客セミナー」</p>
中小企業再生支援協議会	<p>■ 経営改善・事業再生支援研修 ■ 事業再生支援説明 ■ 企業支援関係研修会 ■ 再生支援協議会業務の説明会 ■ 経営改善計画策定支援研修 ■ 新型コロナウイルス感染症特例リスクスケジュール説明</p>

5 ビジネスマッチング支援

- 支援中小企業（取引先・経営支援先等）の販路開拓等に向けたビジネスマッチング支援が、関係機関との連携により実施されている。

県内開催	青森銀行	■ Netbix 地場産品 Web 商談会 ■ 東南アジアOnline個別相談会 ■ 国内バイヤー招聘輸出商談会 ■ ものづくり企業向けオンライン商談会 ■ 2021『青森の正直』商談会～青函交流商談会 ■ あおもりで食を彩る商談会 ■ 国内バイヤー招聘輸出商談会
	みちのく銀行	■ 令和2年度第2回国内バイヤー招請商談会 ■ 令和3年度第1回国内バイヤー招請商談会 ■ 2021「青森の正直」WEB商談会
	東奥信用金庫	■ 2021「青森の正直」WEB商談会
	八戸商工会議所	■ 新商品テストマーケティング支援事業
	黒石商工会議所	■ どこでも物産展開催事業者説明会、カタログ作成、新商品開発支援 ■ オンラインショッピングサイト「くろもの」事業者説明会
	青森県商工会連合会	■ FOOD MATCH AOMORI2021@個別相談会 ■ 国内バイヤー招請輸出商談会 inFOOD MATCH AOMORI

県外開催	青森銀行	■ 第55回スーパーマーケット・トレードショー2021 ■ 青森銀行Presents「あおもり食農サステナブルin 代田」
	みちのく銀行	■ 国際食品商談会2020 8th 沖縄大交易会(オンライン版) ■ ものづくり企業向けオンライン商談会(台湾) ■ ものづくり企業向けオンライン商談会(ベトナム)
	青い森信用金庫	■ ビジネスマッチ東北2021春 ■ 第2回スイーツ商談会 ■ よい仕事おこしネットワーク(ビジネスマッチングサイト)
	東奥信用金庫	■ 2020ウェルネス商談会 ■ 2020よい仕事フェア「日本まるごと物産展」 ■ ビジネスマッチ東北2021春
	青森県信用保証協会	■ OSAKAビジネスフェア2021オンライン展示会
	青森商工会議所	■ 青函オンラインビジネスマッチング事業
	弘前商工会議所	■ 2020年度地域力活用新事業創出支援事業「販路開拓支援事業」
	八戸商工会議所	■ 東北復興水産加工品WEB商談会2020 消費地商談会 (FABEX関西、FoodStyle福岡、大阪(WEB)、東京(WEB)、名古屋(WEB)、福岡(WEB)、シーフードショー大阪)
青森県商工会連合会	■ 沖縄大交易会 ■ ニッポン全国物産展2021 ■ スーパーマーケット・トレードショー	

6 人材育成の取組

- 県内の金融機関及び商工団体において、目利き能力やコンサルティング能力の向上に向けて、事業性評価や伴走型支援等をテーマとした研修受講や資格取得が行なわれている。

青森銀行	■法人F A 養成 ■動産評価アドバイザー ■農業経営アドバイザー ■JGAP指導員（青果物・穀物・家畜・畜産物） ■事業性評価アドバイザー ■M&Aシニアエキスパート
みちのく銀行	■事業承継・M&A地区別勉強会 ■M&Aシニアエキスパート ■協調融資スキーム：資本金劣後ローン「プロGRESS」勉強会
青い森信用金庫	■女性渉外スキルアップ研修 ■渉外ミドルクラス実践力強化研修 ■渉外ファーストクラス実践力強化研修 ■融資担当者審査能力向上研修 ■融資・渉外スキルアップ研修 ■事業性評価研修
東奥信用金庫	■新入職員フォローアップ研修
青森県信用組合	■審査業務トレーナー研修 ■若手職員フォローアップ研修 ■初めての融資担当者研修 ■初めての得意先担当者研修 ■事業承継セミナー ■事業性評価研修(全4回) ■若手職員向け出前研修
青森県信用保証協会	■中小企業診断士 ■信用調査検定（ベシス、アドバンス、マスター） ■部長、人事考課、コンプライアンス事業再生支援基礎研修 ■インキュベーションマネージャー（IM）養成研修 ■動産評価アドバイザー ■若手向け内部研修
青森商工会議所	■インキュベーション・マネージャー養成研修(オンライン) ■2021年度マル経等基礎研修会(オンライン) ■制度改正に伴う専門家派遣事業経営指導員向けインボイス対策研修会(オンライン)
弘前商工会議所	■全国商工会議所共済・保険担当者オンライン研修会 ■事業継続力強化計画策定講習会 ■日商BIZミル活用個別相談会 ■東北六県連観光担当職員オンラインセミナー ■全国商工会議所職員向け観光推進研修会 ■経営指導員等資質向上事業「事業再構築支援研修」 ■東北六県商工会議所連合会共済担当職員研修会
八戸商工会議所	■基礎研修「税務・財務診断」 ■基礎研修「経営診断基礎」 ■事業再構築補助金Webセミナー
黒石商工会議所	■伴走型支援研修（経営分析） ■事業再構築支援研修
十和田商工会議所	■SDGs勉強会
青森県中小企業団体中央会	■情報提供研修
青森県商工会連合会	■商工会主事研修会 ■商工会主査研修会 ■経営指導員研修会 ■商工会パソコン研修会 ■いわてビジネスイノベーションアワードのオンライン視聴 ■経営指導員オンラインセミナー ■商工会事務局長研修会

7 県内金融機関・商工団体等における特徴的な取組

- 金融機関と関係機関との連携や、商工団体における創業支援に向けた取組など、支援機関のコンサルティング機能の強化が図られている。

青森銀行	<p>【コロナ禍での事業者本業支援】 飲食店や宿泊事業者等が提供するテイクアウト商品を県内有カスーパーとタイアップし、商品化・販売を目指す企画を実施。コロナで影響を受けている事業者のPRに繋がる取組。</p> <p>【伴走型コンサルティング研修「事業再構築補助金ワークスタディ」の開催】 顧客の課題解決・成長支援への寄与およびリレーション強化の一環として、行員向けに補助金申請サポートコンサル実践のための研修を開催。（公募概要、事業計画書策定のポイント等解説）</p>
みちの銀行	<p>【産学官金連携】 りんごの高密度わい化栽培に取組む事業者と弘前大学を仲介し、津軽地方の自然環境がトレリスや果樹に与える影響を長期計測して、トレリスの構造と配置の最適化を探る共同研究を実施。導入コストの低減を実現し、りんご高密度わい化栽培を普及することで、青森県のりんご産業のさらなる拡大を目指す。</p>
青い森信用金庫	<p>【地域中小企業支援に関する取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 2021年1月28日青森商工会議所・青森市との連携により創業支援を目的とし、「あおスタ（スタートアップ支援セミナー）」を開催 <p>【地方創生に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 「来て見て青い森魅力まるごと観光ツアーのご案内」（観光ガイドブック）作成・配布 関係人口の創出を目的に、全国の信用金庫をはじめとする関係機関へ青森県の観光情報を発信。取引先を対象とした団体旅行の企画の際には、青森県をお選びいただけるよう働きかけた。 ■ 県内飲食店に対する集客支援プロジェクト「青い森信用金庫新型コロナウイルスあんしん宣言！」 新型コロナウイルス感染拡大により客足が遠のく県内飲食店に対する集客支援として、県内飲食店の店舗情報やおすすめメニュー、実施する新型コロナウイルス感染防止対策を掲載した特設サイトを開設。2021年9月末時点で190件掲載。東北アイスホッケークラブ(株)との連携協定の締結アイスホッケー競技を通じた地域振興に係る包括的連携協定の締結。「アイスホッケーの振興」「青少年の健全育成」「地域貢献活動」「東北フリースタイルに対する応援活動の支援」について、相互が保有する情報や人的資源を有機的に活用し、地域活性化に資することを目的とする。 ■ 「地域の安全・安心を実感できるまちづくり連携協定」の締結 八戸市・八戸地区連合防犯協会と三者連携し、八戸市内における犯罪の未然防止、犯人の早期検挙および子ども・女性の安全確保に極めて有効な防犯カメラを必要な箇所に設置することで、防犯環境の向上の実現を目指す。青い森信用金庫は、「設置場所の提供」「設置した防犯カメラに係る電気料金の負担」を担う。
東奥信用金庫	<p>【中小企業経営力強化研修会（しんきん拠点研修会）】</p> <p>青森県信用金庫協会が主導し、中小零細企業に対する、人材育成・新商品開発・販路拡大等本業支援に於ける課題解決を図ることを目的に、当金庫と青い森信用金庫が各関連機関との連携および専門家の協力を得て研修会を開催している。例年、青森・八戸・弘前の3会場で開催されているが、コロナ禍の影響から2年度及び3年度はWEBセミナーでの開催となっている。研修会出席企業における各商談会等出展時の成約率が高く、商品の完成度を含め、バイヤー等から高い評価を得ている状況にある。</p>

青森県信用保証協会	<p>【バンカーズチョイス（カタログ・ECサイト）紹介の実施】 当協会を利用している中小企業者の販路拡大のツールとして今年度から活用</p> <p>【女性創業相談DAY】 21あおり産業総合支援センターと合同で個別相談会を実施</p> <p>【Zoomを活用した創業相談（夜間）】 創業者の利便性を考慮した夜間の時間帯にて相談受付の実施</p>
青森商工会議所	<p>【コロナウイルス感染症拡大への対策事業】 青森商工会議所では、令和2年1月29日に新型コロナウイルスに関する経営相談窓口を設置し、融資相談や各種補助金、支援金の申請などについて対応した。また、売上の落ち込む管内の事業者への支援策として、関係機関と連携を図り、「テイクアウトをはじめ飲食店のPR支援」、「タクシーによるお買い物代行サービス」、「緊急在庫マーケット」、「ヒト・モノ・コト情報広場」、「みらい飯（クラウドファンディング）」、「プレミアム商品券発行」事業等を実施している。</p> <p>さらに、一刻も早い集団免疫獲得により、停滞している地域の社会経済活動を回復するため、当所が臨時診療所を開設し、新型コロナウイルスワクチンの職域接種を実施した。</p> <p>【AOMORI STARTUP CENTER 運営】 平成30年に、青森商工会議所が整備した「AOMORI STARTUP CENTER」では、起業創業をはじめとするイベントやセミナー、ワークショップが開催されているほか、青森市の「あおり地域ビジネス交流センター」も移転し、起業創業支援のコーディネーター2名が常勤している。また、事業承継・引継ぎセンターの相談窓口、よろず支援拠点の駅前サテライトとして機能している。</p>
弘前商工会議所	<p>【弘前商工会議所・店舗等感染拡大防止対策奨励金】 20万円上限で、定められた感染拡大防止の取組に対して奨励金を交付</p>
八戸商工会議所	<p>【特別相談会】 R2下半期：2回開催。事前予約制で、補助金や融資制度等の経営に関する個別相談会。当所職員や金融機関（日本政策金融公庫）が相談対応。</p>
五所川原商工会議所	<p>【Zoomによるオンライン開催「創業セミナー」】 日本政策金融公庫、弘前、黒石の会議所と合同で3市の共催により創業支援セミナーを開催。公庫融資担当者より創業計画の作成方法や創業に当たり必要な知識・情報の説明を行った。</p>
青森県中小企業団体中央会	<p>【ひろさきビジネス支援センターの運営】 弘前市からの業務委託。創業・起業を目指す方に対し、経営等に関する相談、各種産業情報の提供並びに交流の場を提供し、地域経済活性化を図る。</p> <p>【新型コロナウイルス感染症対応組合等消費喚起促進事業】 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、感染拡大防止に配慮したイベント等の開催やWEB等での販売促進、新たなサービス展開による販路拡大等、組合等が行う新型コロナウイルス感染症の影響を乗り越えるための取組等に対して支援し、疲弊した地域の経済力の回復を図る。</p>